



静岡県富士山世界遺産センター
年報 2019.4-2020.3

● 目 次 ●

館長挨拶	1
1 概 要	
1-1 沿革	2
1-2 写真で見る2019.4-2020.3	4
2 活動状況	
2-1 永く守る	
2-1-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成	9
2-1-2 サポートボランティア制度	10
2-1-3 富士山保全協力金	11
2-1-4 富士山安全対策	12
2-2 楽しく伝える	
2-2-1 企画展	13
2-2-2 アトリウム展示活動	20
2-2-3 教育旅行受入実績	21
2-2-4 出前講座	23
2-2-5 館内講座	29
2-2-6 世界遺産セミナー	31
2-2-7 世界遺産ニュースレター	32
2-2-8 ホームページ及びFacebook紹介	33
2-2-9 公式ハンドブック	33
2-3 広く交わる	
2-3-1 国際シンポジウム	34
2-3-2 視察受入	35
2-3-3 地域貢献・広域連携（富士山ネットワーク加盟）	36
2-4 深く究める	
2-4-1 巡礼路調査	37
2-4-2 研究活動	39
2-4-3 資料収集	46
3 施設・組織・予算	
3-1 センター施設概要	47
3-2 職員	49
3-3 予算概要	50
4 資 料	
4-1 入館者数データ	51
4-2 2019年度の休館日	51
4-3 報道実績	52
4-4 来館者アンケート結果	55
4-5 設置管理条例・規則	59

館長挨拶

ご挨拶

静岡県富士山世界遺産センターが、秀麗なる富士山の裾野にある富士山本宮浅間大社の前に誕生してから早や三年近くなり、この間、国内のみならず世界各地から90万人を超える来館者をお迎えすることができました。

2019年度を振り返ると、センターとしての活動内容に、前進の一步を踏み出せた年となりました。昨年4月から、新たに研究員2名が採用され、それまでの美術史、歴史学、日本古典文学の三分野に、新たに火山学・火山地質学と民俗学・文化遺産学の分野の研究者が加わりました。これにより、富士山に関する学術研究の幅を一層広げ、深みを増すこととなりました。

また、研究の広がりには、その分野に留まらず、公益財団法人徳川記念財団及び富士市立博物館と、それぞれ共同企画展を初めて開催するなど他機関との連携に及び、“深く究める”共同研究へと歩みを進めるに至りました。

さらに、同年11月には、彬子女王殿下の御来静の折、当センターにお立ち寄りいただき、世界遺産富士山を御紹介できるという誠に光栄な機会にも恵まれ、センターの歴史に貴重な1ページを刻むことができました。

2020年に入り、思いがけず世界中が新型コロナウイルスの蔓延による未曾有の脅威に直面し、先行きが見通せず人々の不安と社会経済への負の影響もみられ始めました。そうした状況下、改めて富士山の普遍的な価値の持つ崇高さや意義深さを再認識することにもなりました。

当センターでは、政府の緊急事態宣言に合わせて今年4月14日から一時休館を余儀なくされましたが、職員一同、一致協力して対コロナ対策を徹底し、6月1日には、再開することができました。今後、どのような展開となるかは不透明ながら、センターとしては、アフターコロナ時代を見据え、多くの皆様が安心して快適に過ごせるように万全の運営を心掛けるとともに、常に進化する博物館として富士山の普遍的価値の継承に邁進して参る所存です。

ここに、センターの2019年度の足跡を年報という形で取りまとめ、富士山という偉大な存在の持つ価値を、次の時代に繋いでいくための記録の一環と致しました。ご活用いただければ、幸いに存じます。

令和2年9月

静岡県富士山世界遺産センター
館長 遠山 敦子



1 概要

1-1 沿革

(1) 静岡県富士山世界遺産センター整備及び開館から2019年度まで

2011年10月	基本構想策定委員会を設置
2012年3月	基本構想を策定
2012年11月	基本計画策定アドバイザーを設置
2013年3月	基本計画を策定
2013年6月	世界文化遺産登録決定
2013年8月	建設地を富士宮市宮町に決定
2014年3月	設計者を株式会社坂茂建築設計に決定 展示基本計画を策定
2015年3月	実施設計完了
2016年3月	建築工事着手
2017年2月	2017年12月23日開館を公表
2017年7月	建築工事完成
2017年10月	設置管理条例議決 展示工事完成
2017年12月	12月22日開館記念式典開催 12月23日開館
2018年2月	入館者10万人達成
2018年3月	シアター新番組「地の巻」上映開始
2018年7月	入館者30万人達成
2018年12月	入館者50万人達成
2019年1月	3階「育む山」展示リニューアル
2019年3月	シアター新番組「宙の巻」上映開始
2019年8月	富士山世界遺産センターふじっぴー誕生
2019年11月	彬子女王殿下 地方事情御視察のため御来館
2020年3月	富士山世界遺産センター公式ハンドブック発行

● 基本コンセプト及び機能

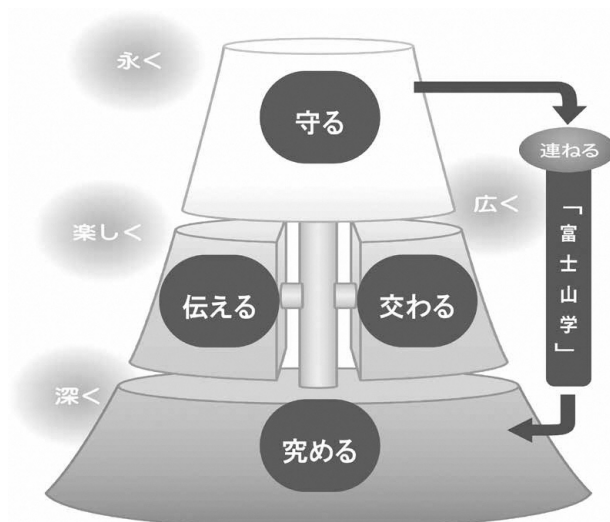
静岡県富士山世界遺産センターは、世界遺産条約第5条(e)の趣旨に則り、富士山が持つ顕著な普遍的価値を次世代に継承し、「永く守る」拠点施設として整備された。

富士山を「永く守る」ためには、資産を適切に保護・管理するとともに、多くの人々が世界文化遺産としての富士山の価値について理解を深めることが必要となる。

そのため、富士山を「永く守る」活動に加え、富士山の価値を「楽しく伝える」活動やセンターの活動を通じて人々が「広く交わる」機会を創出する活動を展開する。さらに、これら「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」の活動内容を奥深いものとするため、富士山の自然や歴史、文化等を「深く究める」活動を展開する。

また、他の研究機関等と連携した「深く究める」活動の成果及びセンターの諸活動を「連ねる」ことで、「富士山学」を体系化し、世界文化遺産「富士山」の価値を探究する活動を継続して実施する。

<基本コンセプト及び機能概念図>



1-2 写真で見る2019.4-2020.3

静岡県富士山世界遺産センター企画展

第1回企画展

徳川将軍と富士山

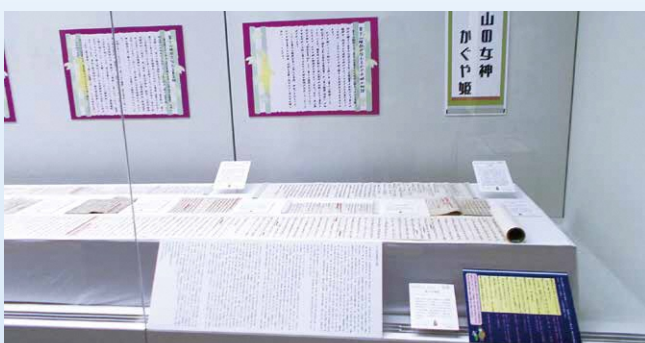
会期：2019年4月27日～2019年5月26日



第2回企画展

富士山かぐや姫ミュージアム共同企画展 富士山の女神 かぐや姫

会期：2019年6月15日～2019年8月18日



第3回企画展

収蔵品展 徳川から明治へ
 —新たな時代に屹立する富士山—
 会期：2019年8月31日～2019年9月23日



第4回企画展
 富士山の曼荼羅
 —参詣曼荼羅にみる富士山信仰の世界—
 会期：2019年10月12日～2019年11月24日

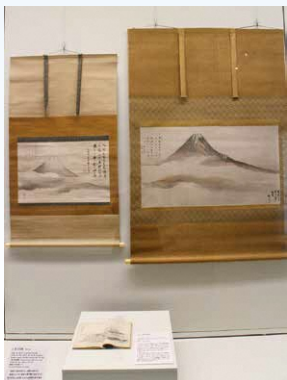


第5回企画展

シリーズ江戸文化のなかの富士山 II 谷文晁×富士山ー山を写した時代の寵児ー

会期：第1部 2019年12月7日～2020年1月9日

第2部 2020年1月11日～2020年2月2日



第6回企画展

ふるさと富士写真展&白籐史朗追悼作品展

会期：2020年2月22日～2020年4月5日



彬子女王殿下御来館

御来館日：2019年11月7日

内 容：静岡県にて開催された第7回世界お茶まつり(秋の祭典)開会式御臨席にあわせた地方事情御視察のため、来館されました。



センターふじっぴーお披露目 (2019年8月13日)



館内講座



館内イベント



2 活動状況

2-1 永く守る

2-1-1 静岡県認定富士山世界遺産ガイド養成

1 概要

静岡県認定富士山世界遺産ガイドは、世界遺産「富士山」の顕著な普遍的価値及びその適切な保存管理について理解を深め、案内することができることを目的とし、2012年度に発足し、2015年度までの4年間にわたって養成講座を7回実施して、247名が修了した。その後、登録更新希望者を対象に2年毎の更新講座を実施し、その際の意向確認でこれまでに82名が登録を辞退・抹消（逝去等）となり、2019年度末の登録者は165名である。

2 活動内容

- ・各構成資産における来訪者へのガイド
- ・教育機関、旅行業者等の依頼に基づいた添乗ガイド
- ・富士山をテーマとする各種講座等における講師
- ・富士山の価値や適切な保存管理の普及のための活動



(更新講座の様子)

3 更新講座

世界遺産ガイドの知識レベルやモチベーションの維持・向上を目的として更新講座を実施している。2019年度は、2013・2015年度修了生を対象に下表の日程で実施し、「世界遺産に係る講義」、「文化的価値に係る講義」、「関連施設の視察」、「情報交換」を行なった。

第1回	第2回	第3回
開催日：2019年7月24日 参加者：39名	開催日：2019年10月23日 参加者：26名	開催日：2020年1月29日 参加者：13名
<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆半島ジオパークミュージアム「ジオリア」の観覧と、施設の運営・館内案内に携わる伊豆半島ジオガイド協会職員との質疑応答。 ・「韮山反射炉・ガイドンスセンター」の観覧と、韮山反射炉ガイドとの質疑応答。 		

● 2-1-2 サポートボランティア制度

1 概要

静岡県富士山世界遺産センターサポートボランティアは、県民や地域住民がセンターの日々の活動を支えるとともに、来館者とセンター、地域とセンターを結ぶ架け橋として活動する組織である。2017年12月23日の開館日から活動を始め、事前に説明会、研修会を受講した140名を初回のサポートボランティアとして正式に登録した。高校生・大学生から80代までの幅広い年齢層で構成され、富士山とセンターを誇りに持ったメンバーが笑顔で来館者を迎えている。

2019年度は、初年度からの継続登録を含め計121名を登録した。経験豊富な継続登録者が新規登録者に対して、来館者への接し方や誘導の仕方の助言しながら活動を行ったり、館内イベントでは、富士山おりがみやオリジナル缶バッジ制作を共に励んだりするなど、年齢や経験を越えてボランティア同士が協力しながら活動に励んだ。

また、来館者サービスの一環として、新たに展示室への案内誘導、タッチパネル展示への案内が活動内容に加わり精力的に活動している。

2 活動内容

(1) 運営補助・教育普及グループ

- ・各展示室へ誘導及び案内（新規活動）
- ・タッチパネル展示への案内（新規活動）
- ・スロープでの誘導
- ・外国語対応
- ・展望フロアでの誘導
- ・シアター出入りの誘導
- ・企画展示室への誘導
- ・館内講座等運営補助
- ・センターからの発行物等の袋詰め作業（館内講座等のチラシ、準備物等作成）



(2) ライブラリーグループ

- ・富士山ライブラリーの司書補助（図書データ打ち込み補助、書籍管理）
- ・ライブラリーの整理・整頓
- ・富士山へのメッセージ掲示
- ・AV資料のクリーニング等
- ・研究員の調査・研究に関する資料整理補助



(3) 環境・美化グループ

- ・館内外の環境整備補助

● 2-1-3 富士山保全協力金

1 概要

静岡県は、富士山の普遍的価値（信仰の対象、芸術の源泉など）を広く後世に継承するための意識醸成を理念に、2014年度から富士山保全協力金を受け付けている。当協力金は、富士山の環境保全や登山者の安全対策を進める事業に活用しており、2019年度は、須走・吉田ルート山頂直下の石積崩落の復旧工事、山小屋トイレの改修、安全誘導員の配置等に活用した。

2 各登山口の協力金受付

区分	富士宮口	須走口	御殿場口
対象	五合目から先に立ち入る来訪者		
期間	2019年7月10日～9月10日		
記念品	缶バッジ（富士宮口：青、須走口：赤、御殿場口：緑）		

※県富士山世界遺産課において、水ヶ塚駐車場受付、インターネット・コンビニ受付も実施。



左：須走口受付の様子
下：記念品缶バッジ



3 富士山保全協力金の受入状況

2019年は前年度と比べて協力者数は581人増、協力金額は958,564円増で過去最高となった。

区分	2019年		2018年		2019年 - 2018年			
	7月10日～9月10日		7月10日～9月10日		人数(人)	金額(円)		
	人数(人)	金額(円)	人数(人)	金額(円)				
現地	富士宮	五合目	22,163	22,117,165	23,799	23,670,699	▲1,636	▲1,553,534
		水ヶ塚	13,005	12,933,396	12,313	12,135,196	692	798,200
		小計	35,168	35,050,561	36,112	35,805,895	▲944	▲755,334
	御殿場	4,695	4,577,436	4,141	4,021,764	554	555,672	
	須走	16,401	16,541,515	15,689	15,510,289	712	1,031,226	
	小計	56,264	56,169,512	55,942	55,337,948	322	831,564	
インターネット等	インターネット	205	205,000	148	148,000	57	57,000	
	コンビニ	202	202,000	123	123,000	79	79,000	
	県庁受付	1,067	935,000	944	944,000	123	▲9,000	
	小計	1,474	1,342,000	1,215	1,215,000	259	127,000	
合計		57,738	57,511,512	57,157	56,552,948	581	958,564	

● 2-1-4 富士山安全対策

1 概要

静岡県は、山梨県と連携し、富士登山における安全確保のため、富士山須走・吉田ルートの上合目から八合目までの登下山道の安全誘導、下山道の巡回や案内看板設置等の安全対策、八合目分岐点の道間違い対策を実施している。

2 須走・吉田ルート安全誘導員の配置

静岡県富士山世界遺産センターでは、2019年7月1日から2019年9月10日までの期間、富士山須走・吉田ルートの上合目から八合目までの登下山道の安全誘導と下山道の八合目分岐点での道間違い防止のため、延べ339人の安全誘導員を配置した。



3 富士山須走・吉田ルート下山道安全対策

静岡県富士山世界遺産センターは、2014年の富士山須走ルート下山道九合目付近での落石による事故を踏まえ、2015年以降の富士山開山期間中、須走ルート山頂～八合目区間で、案内看板の設置や、土砂・石等の埋め戻し等の巡回業務などの安全対策を実施している。



2-2 楽しく伝える

2-2-1 企画展

○第一回企画展

春季特別展 徳川将軍と富士山

会 期 2019年4月27日～5月26日

観 覧 料 一般：700円／70歳以上：200円／大学生以下：無料

入場者数 9,923人（期間中の企画展チケット発券枚数）

概 要

1603年に徳川家康が征夷大將軍に就任し、1867年に十五代慶喜が大政奉還するまでの260年余、日本は世界史上稀なる泰平の時代を謳歌した。

三代家光から四代家綱を経て將軍家の政策が武断から文治主義へと転換されると、五代綱吉の治世下には“元禄文化”、十一代家齊の治世下には“化政文化”が花開き、江戸文化は成熟を極めていく。“徳川の平和”のもと、文化も貴賤雅俗を巻き込みこれまでにない多元的な展開をとげるのである。

こうしたなか、徳川將軍の象徴となり江戸文化の中核に位置づけられるのが富士山である。江戸時代前期、家康以下四代の將軍に仕えた狩野探幽が富士山絵画の定型を編み出すと、富士山は江戸城内にも描かれて徳川將軍の御威光を補完する。一方、化政文化を中心とする江戸時代後期には、葛飾北斎や谷文晁、酒井抱一らにより富士山絵画の傑作群が生み出される。

本展覧会では、未曾有の平和と繁栄をもたらした歴代將軍の事績をたどりながら、彼らと富士山との関係を検証した。

共催：公益財団法人徳川記念財団

主な出展作品 太刀「来 国光」（公益財団法人徳川記念財団）
兜「大黒頭巾形 齒朶前立」（久能山東照宮）
住吉広定ほか「東照宮御縁起」（日光山輪王寺）
「東照大権現像（白描）」（公益財団法人徳川記念財団）
「東照大権現霊夢像（家康家光対面像）」（公益財団法人徳川記念財団）
狩野常信筆「秋景富士三保清見寺図」（静岡県富士山世界遺産センター）
徳川綱吉筆「富士図」（公益財団法人徳川記念財団）
狩野晴川院養信筆「徳川家齊像」（公益財団法人徳川記念財団）
振袖帷子 徳川家齊十一女浅姫所用（福井市立郷土歴史博物館寄託）
谷文晁筆「富士山中真景全図」（静岡県富士山世界遺産センター）



酒井抱一筆「武蔵野富士図」（公益財団法人徳川記念財団）
 葛飾北斎画『阿蘭陀画鏡』（東京都江戸東京博物館）
 葛飾北斎画『富嶽三十六景』「江戸日本橋」（個人蔵）
 鋏形蕙斎画「江戸名所之絵」（東京都江戸東京博物館）
 川村清雄「徳川慶喜像」（公益財団法人徳川記念財団）

関連イベント

特別講演 2019年4月27日 江戸の遺伝子 於富士宮市立中央図書館
 講師：徳川恒孝（公益財団法人徳川記念財団理事長）／徳川家廣（同理事・経済評論家）

○第二回企画展

静岡県富士山世界遺産センター・富士山かぐや姫ミュージアム 共同企画展
 富士山の女神かぐや姫

期 間 2019年6月15日～8月18日
 観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）
 入場者数 43,208人（期間中の常設展チケット発券枚数）
 概 要

富士山周辺では、かぐや姫は月ではなく富士山に帰り、実は富士山の神様だった、というストーリーが伝承されている。この話は、「富士山縁起」という富士山信仰に関わる寺社の縁起書などに記され、特に富士山南麓に位置する静岡県富士市・富士宮市を主な舞台としていることから、当地周辺にはいくつもの伝承地が残されている。本展覧会では、この富士山に帰るかぐや姫の物語を紹介するとともに、どのようにしてこの地に伝わったのかを探っていく。また、「富士山縁起」を数多く残し、明治時代初頭まで富士郡下方（現在の富士市域の大部分）において活動した有力な密教寺院「富士山東泉院」の存在に注目し、富士山と富士山南麓のかぐや姫伝説の結びつきについて考える。なお、本展覧会は、静岡県富士山世界遺産センターと富士山かぐや姫ミュージアムによる初の共同企画展である。



主な出展作品

- ・「富士山大縁起」（永禄3年書写、富士山かぐや姫ミュージアム）
- ・「富士山禅定図」（天明年間頃、富士山かぐや姫ミュージアム）
- ・「荊叢毒薬」（明和6年、白隠著、富士文庫所蔵）
- ・「山号額「富士山」」（明和7年、富士山かぐや姫ミュージアム）
- ・「東泉院境内絵図写」（安永7年、富士山かぐや姫ミュージアム）
- ・「宮門跡公家衆諸大名後鑑」（享保13年、富士山かぐや姫ミュージアム）
- ・「釈迦三尊十六善神図」（鎌倉時代末頃、富士山かぐや姫ミュージアム）
- ・「秘密源底口決」（南北朝期頃、富士山かぐや姫ミュージアム）

・「張果老図」(元禄4年、徳川綱吉筆、富士山かぐや姫ミュージアム)
など計57点の作品を紹介した。

イベント

・特別講演

日時：2019年7月28日 午後1時30分～3時

会場：静岡県富士山世界遺産センター研修室

講師：西岡芳文(上智大学文学部教授)

演題：「富士山縁起と中世の富士信仰」

○第三回企画展

2019年度収蔵品展 徳川から明治へ—新たなる時代に屹立する富士山—

会 期 2019年8月31日～9月23日

観 覧 料 無料(常設展観覧料のみで観覧可)

観覧者数 14,351人(期間中の常設展チケット発券枚数)

概 要

徳川将軍が統治した260年余、その居所である江戸は、「首都」としての地位を獲得する。こうしたなか江戸そして徳川将軍と一体化すべき象徴的存在と位置づけられたのが富士山だった。

錦絵のなかにおいて富士山は、しばしば将軍の住む江戸城と重ね合わせるように描かれた。富士山は江戸市民の間においても、将軍と一体化すべき霊峰と認識されたのである。幕末期になると十四代将軍徳川家茂による上洛や長州征討を扱った揃物錦絵が出板されるが、このなかでも富士山は、将軍権威を荘厳するための重要な「舞台装置」として位置づけられた。

徳川将軍の世が幕を下ろすと、富士山は新たなる時代—明治の象徴へと読み替えられていく。

明治天皇の東幸(東京行幸)を描いた錦絵の多くには、壮麗な行列や天皇を戴く鳳輿ほうりんとともに富士山が配され、新しい王の誕生を寿ぐメタファーとして富士山が描写される。数々の観兵式や明治22年(1889)の帝国憲法発布式といった時代の展開点となる場面では、明治天皇を覆う天蓋のように富士山が描かれた。

本展覧会では、幕末明治期の錦絵とともに平成30年度新収蔵の狩野派絵画を展覧し、時代の転換期に富士山イメージがいかに位置づけられたかを検証した。

主な出展作品

- ・狩野晴川院養信筆「富士山図」(静岡県富士山世界遺産センター)
- ・狩野董川中信筆「富士飛鶴図」(静岡県富士山世界遺産センター)
- ・三代歌川豊国ほか画『御上洛東海道』(静岡県富士山世界遺産センター)
- ・二代歌川国貞ほか画『末廣五十三次』(静岡県富士山世界遺産センター)
- ・三代歌川広重画「東京日本橋御高札場之図」(個人蔵)



- ・月岡芳年画「東京府中橋通街之図」（個人蔵）
- ・歌川国虎画「大調練之図」（静岡県富士山世界遺産センター）

関連イベント

- ・図書館講座（富士宮市立中央図書館）

2019年8月21日

演題：富士山絵画からみた「帝国」の誕生—幕末明治の浮世絵を中心に—

講師：松島仁（富士山世界遺産センター教授）

- ・記念講演会

2019年9月14日

演題：明治浮世絵の魅力

講師：庵原理絵子（美術史家・浮世絵研究家／学習院大学・玉川大学講師）

○第四回企画展

2019年秋季企画展 富士山^{まんだら}の曼茶羅 —参詣曼茶羅にみる富士山信仰の世界—

会 期 2019年10月12日～11月24日

観 覧 料 無料（常設展観覧料のみで観覧可）

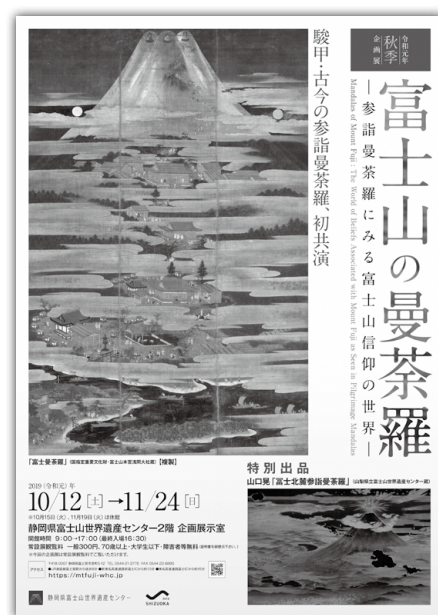
観覧者数 34,925人（期間中の常設展チケット発券枚数）

概 要

富士参詣曼茶羅は、主に16～17世紀にかけて描かれた、富士山への信仰登山を描いた宗教的な案内絵図で、これらは全て富士山表口からみた景観を描く。

今回の企画展では、富士山本宮浅間大社蔵「富士曼茶羅」（国指定重要文化財）をはじめとした、富士参詣曼茶羅の代表作4点の高解像度複製（原寸）を一堂に集め、参詣曼茶羅に表現された富士山信仰の世界を紹介した。あわせて、参詣曼茶羅とは「似て非なるもの」を展示し、富士参詣曼茶羅とは何かを考えるものとした。

特別出品として、現代日本画を代表する画家である山口晃氏により描かれた、山梨側からの現代の富士参詣曼茶羅「富士北麓参詣曼茶羅」（山梨県立富士山世界遺産センター蔵）の原画を展示し、駿河国と甲斐国のそれぞれから描かれた、古今の富士参詣曼茶羅の初共演とした。



主な出展作品

- ・「富士曼茶羅」（富士山本宮浅間大社所蔵、国指定重要文化財指定）原寸複製
- ・「富士浅間曼茶羅」（富士山本宮浅間大社所蔵、静岡県有形文化財指定）原寸複製
- ・「富士参詣曼茶羅」（天満山松栄寺所蔵）原寸複製
- ・山口晃「富士北麓参詣曼茶羅」（山梨県立富士山世界遺産センター蔵）
- ・「富士山神宮并麓八海略絵図」（山梨県立博物館蔵）

・「身禄曼荼羅」(ふじさんミュージアム蔵)

イベント

・館内講座

2019年10月20日

演題：富士山の参詣曼荼羅を絵解く

講師：大高康正准教授

・ギャラリートーク

2019年11月3日

講師：田代一葉准教授

○第五回企画展

2019年度冬季特別展

シリーズ江戸文化のなかの富士山Ⅱ 谷文晁×富士山—山を写した時代の寵児—^{ちょうじ}

会 期 2019年12月7日～2020年2月2日

観 覧 料 一般：700円／70歳以上：200円／大学生以下：無料

入場者数 8,484人(期間中の企画展チケット発券枚数)

概 要

静岡県富士山世界遺産センター第一号の収蔵品である谷文晁筆「富士山中真景全図」は富士登山の過程を描いたもので、冒頭に11代将軍徳川家斉による評語が書されるため、将軍の上覧を得た作品であることがわかる。本作については、実際には「富岳真状」(東京都立中央図書館)など小泉檀山の登山スケッチに図様の典拠を置いていることがすでに指摘されている。もっとも小泉檀山の富士登山から徳川家斉の「富士山中真景全図」上覧まで3ヶ月ほどしかかないことや、前年の寛政6年11月に水戸藩士大場玉泉による登山の記録『富嶽遊記』を家斉が入手し写本を作成させていることなどから、『富嶽遊記』家斉上覧から「富士山中真景全図」制作を一連の流れとして位置づけることも可能かも知れない。

一方、本作を描いた谷文晁は、葛飾北斎や酒井抱一らが活躍した18世紀末から19世紀前半の江戸画壇において一世を風靡した時代の寵児で、「写山楼」と号するなど、自他とも認める富士山の画家だった。事実、谷文晁は実見にもとづいた“真景”的作品から独自の三峰型に定型化されたパテント的作品まで多様な富士山図を残している。

シリーズ「江戸文化のなかの富士山」の第2回となる本特別展では、谷文晁富士山図の代表作を概観するとともに、「富士山中真景全図」とその周辺作品・史料に関わる最新の研究成果を示し、「富士山の画家」として知られた谷文晁の画業を再考した。

主な出展作品



- ・谷文晁筆「七里ヶ浜真景図」(世田谷区立郷土資料館)
- ・谷文晁筆・谷麓谷賛「富士山図」(静岡県富士山世界遺産センター)
- ・谷文晁筆「富士図」(三溪園〈山口八十八コレクション〉)
- ・谷文晁筆「隅田川兩岸図」(群馬県立近代美術館〈戸方庵井上コレクション〉)
- ・谷文晁筆「富士山図」(個人蔵・仙台市博物館寄託)
- ・谷文晁筆「富士越龍・三保松原・東下り図」(個人蔵)
- ・谷文晁筆「富嶽図屏風」(上野記念館)
- ・谷文晁筆「富士山中真景全図」(静岡県富士山世界遺産センター)
- ・小泉檀山筆「富岳真状」(東京都立中央図書館)
- ・小泉檀山筆「富嶽全図巻」(栃木県立美術館)
- ・作者未詳「江ノ島富士」(小山町)

イベント

- ・図書館講座(富士宮市立中央図書館)
2019年12月12日
演題:富士山を描いた“時代の寵児”文晁・北斎・抱一
講師:松島仁教授
- ・記念講演会
2020年1月5日
演題:写山楼谷文晁 山を写した時代の寵児
講師:河野元昭(静嘉堂文庫美術館館長)

○第六回企画展

秀景ふるさと富士写真展 白簾史朗追悼作品展

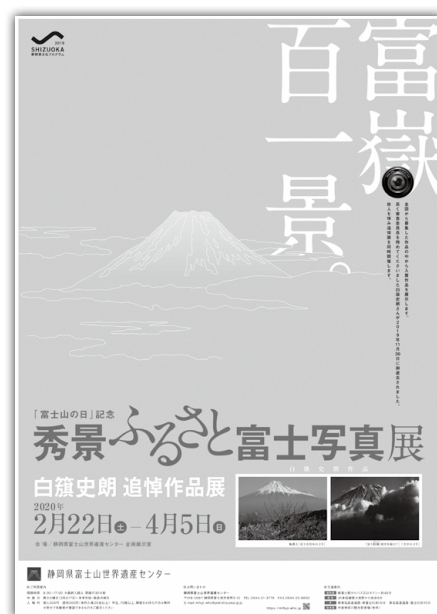
会 期 2020年2月22日～4月5日
観 覧 料 無料(常設展観覧料のみで観覧可)
入場者数 13,405人(期間中の常設展チケット発券枚数)
概 要

静岡県では「富士山の日」の推進運動の一環として「秀景ふるさと富士写真コンテスト」を2011年から毎年実施している。

静岡県富士山世界遺産センターでは、昨年度に引き続きフィルム部門、デジタル部門の2部門からなる「第10回秀景ふるさと富士写真コンテスト」を実施し、北海道から九州までの全国各地から多数の応募があった。

本企画展では、長年審査委員長を務めた山岳写真家の第一人者である故白簾史朗氏の意志を引き継ぎ、審査委員沼田早苗氏、織作峰子氏が厳選したフィルム部門、デジタル部門、それぞれ

の入選作品68点を展示した。併せて、白簾史朗追悼作品展として、写真集『富士眩耀』(ふじげんよう)



に収められた貴重なモノクロ原版写真30点を公開し、富士市大淵笹場から初夏の富士山を撮影した「白雪の富士、蒼穹に茶の香高し」などカラー写真パネル3枚とともに展示した。

出展作品

(フィルム部門)

最優秀賞 残春の阿寒富士（「阿寒富士（阿寒富士）」）高橋 和幸

優秀賞 棚田の向こうに（「開聞岳（薩摩富士）」）鶴戸 堅一

優秀賞 静寂（「鳥海山（出羽富士・秋田富士）」）山田 秀俊

他4作品

(デジタル部門)

最優秀賞 ダイヤモンド剣ヶ峰（大山「（伯耆富士・出雲富士）」）宇田川 洋二

優秀賞 薄氷の朝（「筑波山（筑波富士）」）小池 佳子

優秀賞 厳冬の山水（「磐梯山（会津富士）」）鈴木 彦三

他58作品

● 2-2-2 アトリウム展示活動

1 概要

静岡県富士山世界遺産センター1階アトリウムでは、世界文化遺産「富士山」の価値の後世継承の活動の一環として、「富士山」に触れる場をより多く提供するため、様々な機関と連携し、作品展示を行っている。2019年度は、計3回の展示を行った。

(1) ふじのくに地球環境史ミュージアムとの連携

(2019年8月7日～8月28日)

ふじのくに地球環境史ミュージアムによる巡回展示「ミュージアムキャラバン」の一環として、植物の花と葉、植物標本、静岡県の植物等の標本を集めた「植物の世界」を展示した。



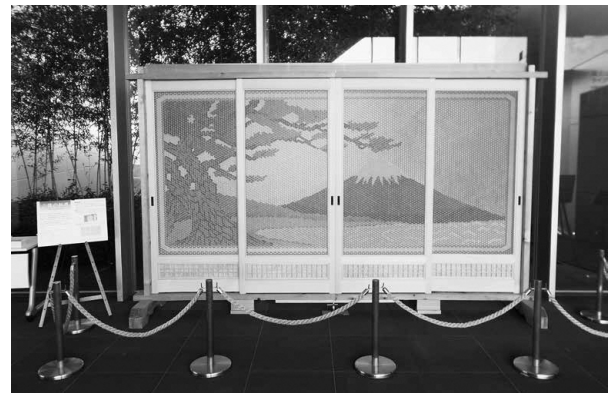
ミュージアムキャラバン「植物の世界」展示

(2) 木製建具「三保の松原」の展示

(2019年11月7日～11月15日)

掛川市在住の「現代の名工」で、平成30年秋の黄綬褒章を受章した木製建具製造工 佐次本武司^{さきじもとたけし}さんが製作した木製建具「三保の松原」を展示した。

「三保の松原」は、幅4メートル、高さ2.5メートルの大作で、富士山と構成資産の三保の松原を、組子の技法で表現したものである。



「三保の松原」

(3) 認定NPO法人富士山世界遺産国民会議との連携

(2020年2月4日～2月10日)

認定NPO法人富士山世界遺産国民会議が主催する、全国の小中高生を対象とした富士山をテーマにした書き初めコンテストの受賞作品を展示した。



2019年度書き初め展示

● 2-2-3 教育旅行受入実績

1 教育旅行の受入

静岡県富士山世界遺産センターの基本コンセプトのひとつ「楽しく伝える」に、富士山の「楽習」機会の提供～学習支援～が位置付けられており、その一環として、センターへの学校等団体による教育旅行の来館促進に取り組んでいる。



2019年9月 富士宮市立富士見小学校来館

2 受入実績概要

2019年度は、下表のとおり、静岡県内を中心に、首都圏、中部圏、関西圏のほか海外から、延べ123校の学校等団体の来館があった。



2020年1月 中国少年少女ジャーナリスト訪日体験団

教育旅行（学校）来館数

（単位：校）

	東部	中部	西部	首都圏 ※1	東海 ※2	関西 ※3	北陸 ※4	海外 ※5
保育園 幼稚園	7	0	0	0	0	0	0	0
小学校	25	22	0	0	0	0	0	4
中学校	14	2	2	5	0	0	0	0
高等学校	9	8	0	3	0	0	1	4
大学	0	2	1	7	1	0	0	0
専門学校 各種学校	0	1	0	4	0	1	0	0
小計	55	35 93	3	19	1	1	1	8
合計	123							

※1…茨城県・群馬県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

※2…愛知県

※3…大阪府

※4…福井県

※5…中国・台湾・モンゴル

また、2019年度の来館者31万4,999人のうち、小人の入場券発券数2万2,294枚（全発券数の9.9%）、学生の入場券数9,000枚（全発券数の4.0%）であり、その内、教育旅行での受付人数は小人（幼稚園・保育園・小学校・中学校）5,631人（小人発券数の25.3%）、学生（高等学校・大学・大学院・専門学校等）2,009人（学生発券数の22.3%）であった。

※チケット区分 小人：15歳未満の児童・生徒

学生：15歳以上の生徒・学生

● 2-2-4 出前講座

1 富士山世界文化遺産出前講座概要

富士山世界文化遺産出前講座は、富士山の自然や文化、世界遺産についての基礎知識をわかりやすく説明し、富士山についての理解と関心を高め、世界遺産「富士山」の後世継承への気運を高めることを目的とし、小・中・高校の「総合的な学習の時間」や「特別活動」の野外活動の事前学習のほか、公民館等各種団体からの依頼を受けて講師を派遣し、講座を実施している。

2 地区・対象別実施数（人数）

〈一般〉

	地区（件）				総計
	東部	中部	西部	県外	
一般	36	15	5	2	58
人数（人）	2,644	1,202	180	240	4,266

〈学校〉

	地区（校）			小計	人数（人）
	東部	中部	西部		
小学校	5	10	0	15	1,205
中学校	5	1	1	7	442
高校	4	2	2	8	224
大学	0	1	1	2	120
総計	14	14	4	32	1,991

3 分野・タイトル別実施数

〈富士山入門〉（担当：植野主幹・白鳥主査）	学校	一般	小計	合計（人数）
「ふじさんってどんなやま？」	2	3	5	52件 (4,455人)
「世界遺産の富士山を学ぼう」	8	25	33	
「富士山の歴史を学ぼう」	2	0	2	
「富士山の自然と世界文化遺産」	9	2	11	
「富士山入門」	1	0	1	

〈各論 文化：美術〉(担当：松島教授)	学校	一般	小計	合計(人数)
「富士山のかたち、いろいろ」	1	0	1	7件 (302人)
「日本の美と心－富士山」	0	5	5	
「富士山と徳川将軍」	0	1	1	

〈各論 自然科学：火山・地質・防災〉(担当：小林准教授)	学校	一般	小計	合計(人数)
「静岡県の活火山を比較」	0	1	1	6件 (178人)
「富士山の噴火史と火山防災(ハザードマップの読み方)」	1	2	3	
「富士山に刻まれた噴火の痕跡を地形から読み解く」	1	1	2	

〈各論 史学：歴史〉(担当：大高准教授)	学校	一般	小計	合計(人数)
「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」	0	2	2	14件 (780人)
「江戸時代の富士山」	0	2	2	
「富士山の歴史を学ぶ」	0	7	7	
「静岡と世界遺産(富士山)」	1	0	1	
「富士山と富士信仰」	1	0	1	
「須走口登山道を歩いてみよう」	0	1	1	

〈各論 文化：文学〉(担当：田代准教授)	学校	一般	小計	合計(人数)
「古典文学と富士山」	0	2	2	3件 (155人)
「富士山と近代文学」	0	1	1	

〈各論 文化：民俗・文化遺産〉(担当：山川研究員)	学校	一般	小計	合計(人数)
「世界遺産ってなあに」	1	0	1	8件 (387人)
「富士山と私たちの暮らし」	1	1	2	
「富士山の不思議なお話、ちょっと怖いお話」	3	2	5	

総合計 (人数)
90件 (6,257人)

4 2019年度出前講座実施一覧

〈富士山入門〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	5月10日	万年青大学（5学級合同開講式）	一般	65歳以上	東部	350	「世界遺産の富士山を学ぼう」
2	5月16日	富士宮市立北山中学校	学校	中学1年 2・3年希望者	東部	60	「富士山の歴史を学ぼう」
3	5月21日	静岡市立葵小学校	学校	小学5年生	中部	96	「富士山の自然と世界文化遺産」
4	5月29日	静岡市立服織小学校	学校	小学5年生	中部	154	「富士山の自然と世界文化遺産」
5	6月4日	日枝寿大学	一般	65歳以上	東部	57	「世界遺産の富士山を学ぼう」
6	6月5日	掛川市大須賀中央公民館	一般	60歳以上	西部	40	「世界遺産の富士山を学ぼう」
7	6月7日	富士宮市立西小学校	学校	小学2・3年	東部	51	「ふじさんってどんなやま？」
8	6月11日	我入道寿大学	一般	65歳以上	東部	100	「世界遺産の富士山を学ぼう」
9	6月13日	片浜西部寿大学	一般	65歳以上	東部	25	「世界遺産の富士山を学ぼう」
10	6月18日	原寿大学	一般	65歳以上	東部	130	「世界遺産の富士山を学ぼう」
11	6月21日	香南寿大学	一般	65歳以上	東部	60	「世界遺産の富士山を学ぼう」
12	6月25日	富士宮市立富丘小学校	学校	小学5年生	東部	131	「富士山の自然と世界文化遺産」
13	6月26日	島田市立島田第四小学校	学校	小学5年生	中部	76	「富士山の自然と世界文化遺産」
14	6月28日	浜松市立八幡中学校	学校	中学2年	西部	102	「富士山の自然と世界文化遺産」
15	7月2日	御殿場市立原里小学校	学校	小学6年	東部	94	「富士山の自然と世界文化遺産」
16	7月4日	藤枝市立稲葉小学校	学校	小学5年	中部	20	「富士山の自然と世界文化遺産」
17	7月5日	金岡寿大学	一般	65歳以上	東部	260	「世界遺産の富士山を学ぼう」
18	7月5日	富士市立富士川第一小学校	学校	小学5年	東部	74	「世界遺産の富士山を学ぼう」
19	7月9日	橘西浦寿大学	一般	65歳以上	東部	21	「世界遺産の富士山を学ぼう」
20	7月9日	静岡県立伊豆総合高校	学校	選択授業 履修者	東部	15	「世界遺産の富士山を学ぼう」
21	7月11日	静岡市立清水高部小学校	学校	小学5年	中部	63	「世界遺産の富士山を学ぼう」

番号	開催日	団体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
22	7月12日	浮島寿大学	一般	65歳以上	東部	60	「世界遺産の富士山を学ぼう」
23	7月17日	静岡県立富岳館高校	学校	高校1年	東部	70	「富士山の自然と世界文化遺産」
24	7月19日	富士市立高校	学校	高校3年年	東部	37	「世界遺産の富士山を学ぼう」
25	7月19日	今沢寿大学	一般	65歳以上	東部	80	「世界遺産の富士山を学ぼう」
26	7月31日	富士見児童クラブ	一般	小学1～6年	中部	105	「ふじさんってどんなやま？」
27	8月6日	(児童クラブ) 富士川スマイルクラブ(富士市)	一般	小学1～6年	東部	65	「ふじさんってどんなやま？」
28	8月9日	大岡寿大学	一般	65歳以上	東部	119	「世界遺産の富士山を学ぼう」
29	8月14日	第三中寿大学	一般	65歳以上	東部	35	「世界遺産の富士山を学ぼう」
30	8月17日	(児童クラブ) わいわい塾 (函南町教育委員会生涯学習課)	一般	小学4～6年	東部	30	「ふじさんってどんなやま？」
31	8月20日	愛鷹寿大学	一般	65歳以上	東部	90	「世界遺産の富士山を学ぼう」
32	8月21日	内浦寿大学	一般	65歳以上	東部	36	「世界遺産の富士山を学ぼう」
33	8月24日	第65回日本母親大会実行委員会	一般	一般女性	中部	450	「世界遺産の富士山を学ぼう」
34	9月4日	大平寿大学	一般	65歳以上	東部	45	「世界遺産の富士山を学ぼう」
35	9月5日	静岡市立麻機小学校	学校	小学5年	中部	74	「世界遺産の富士山を学ぼう」
36	9月6日	門池寿大学	一般	65歳以上	東部	166	「世界遺産の富士山を学ぼう」
37	9月12日	浜松市富塚協働センター	一般	生きがいづくり教室参加者	西部	30	「富士山の自然と世界文化遺産」
38	9月13日	富士宮市立上野中学校	学校	中学1年	東部	49	「世界遺産の富士山を学ぼう」
39	9月19日	片浜東部寿大学	一般	65歳以上	東部	65	「世界遺産の富士山を学ぼう」
40	9月26日	富士市青葉台まちづくりセンター	一般	60～80歳	東部	40	「世界遺産の富士山を学ぼう」
41	10月9日	焼津市立東益津小学校	学校	小学5年	中部	67	「富士山の自然と世界文化遺産」
42	10月9日	吉田町シニアカレッジ	一般	60歳以上	中部	32	「世界遺産の富士山を学ぼう」
43	10月28日	焼津市立大井川東小学校	学校	小学5年	中部	74	「世界遺産の富士山を学ぼう」
44	11月2日	藤枝市産学官連携推進協議会	一般	一般	中部	50	「世界遺産の富士山を学ぼう」

番号	開催日	団体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
45	11月4日	朝霧野外活動センター 「朝霧カーニバル」	一般	一般	東部	100	「世界遺産の富士山を学ぼう」
46	11月8日	焼津市立黒石小学校	学校	小学5年	中部	105	「世界遺産の富士山を学ぼう」
47	11月18日	静岡県立静岡北特別支援学校 南の丘分校	学校	高等部2年	中部	18	「富士山入門」
48	11月29日	沼津市立愛鷹中学校	学校	中学2年生	東部	119	「富士山の歴史を学ぼう」
49	2月7日	浜松市入野協働センター	一般	60歳以上	西部	40	「世界遺産の富士山を学ぼう」
50	2月15日	介護老人保健施設 萩の里	一般	高齢者カフェ 参加者	中部	40	「富士山の自然と世界文化遺産」
51	2月24日	静岡県立朝霧野外活動センター (朝霧ウォーキング)	一般	一般	東部	150	「世界遺産の富士山を学ぼう」
52	2月25日	富士市立大淵第二小学校	学校	小学1～6年	東部	35	「ふじさんってどんなやま？」

〈各論：文化（美術）〉

番号	開催日	団体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	6月11日	富岡地区社会福祉協議会	一般	一般応募	西部	30	「富士山と徳川将軍」
2	6月26日	静岡市西奈生涯学習センター	一般	高齢者	中部	80	「日本の美と心－富士山」
3	8月21日	富士宮市立図書館	一般	中学生以上	東部	45	「日本の美と心－富士山」
4	10月4日	静岡県立清水南高等学校	学校	高校1年	中部	22	「富士山のかたち、いろいろ」
5	12月12日	富士宮市立中央図書館	一般	中学生以上	東部	45	「日本の美と心－富士山」
6	1月29日	三保生涯学習交流館	一般	一般	中部	30	「日本の美と心－富士山」
7	2月22日	富士市立中央図書館	一般	一般	東部	50	「日本の美と心－富士山」

〈各論：火山・地質・防災〉

番号	開催日	団体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	7月2日	静岡県立浜松北高校定時制	学校	高校3年	西部	31	「富士山の噴火史と火山防災 (ハザードマップの読み方)」
2	7月29日	特殊東海エコロジー株式会社	一般	従業員	東部	80	「富士山の噴火史と火山防災 (ハザードマップの読み方)」
3	11月16日	(公社法)日本消費生活アドバイザー・ コンサルタント・相談人協会静岡分科会	一般	会員	東部	15	「富士山の噴火史と火山防災 (ハザードマップの読み方)」
4	12月15日	三島市郷土資料館	一般	ガイド ボランティア	東部	30	「静岡県の活火山を比較」

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
5	2月1日	御殿場西高校 特進コース	学校	高校1～2年	東部	7	「富士山に刻まれた噴火の痕跡を地形から読み解く」
6	2月8日	ふじさんネットワーク	一般	エコレンジャー	東部	15	「富士山に刻まれた噴火の痕跡を地形から読み解く」

〈各論：歴史(信仰)〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	5月8日	不二見生涯学習交流館 高齢者学級おもと大学	一般	60歳以上	中部	50	「富士山の歴史を学ぶ」
2	5月25日	明るい社会づくり運動 富士宮地区協議会	一般	会員	東部	70	「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」
3	6月4日	静岡青色申告会	一般	70～80歳女性	中部	60	「江戸時代の富士山」
4	7月6日	一般財団法人 日本旅行医学会	一般	会員 他	県外 (東京都)	140	「富士山の歴史を学ぶ」
5	7月7日	一般財団法人 日本旅行医学会	一般	会員 他	県外 (大阪府)	100	「富士山の歴史を学ぶ」
6	9月7日	小山町教育委員会生涯学習課	一般	町内在住・在勤者	東部	30	「須走口登山道を歩いてみよう」
7	9月12日	吉原まちづくりセンター	一般	主催講座参加者	東部	40	「富士山の歴史を学ぶ」
8	9月27日	東海大学短期大学部	学校	短大2年	中部	20	「静岡と世界遺産（富士山）」
9	10月15日	静岡文化芸術大学	学校	大学1年	西部	100	「富士山と富士信仰」
10	11月20日	静岡市清水生涯学習交流館	一般	60歳以上	中部	35	「江戸時代の富士山」
11	12月19日	蒲原生涯学習交流館	一般	60歳以上	中部	50	「富士山の歴史を学ぶ」
12	1月14日	庵原生涯学習交流館	一般	60歳以上	中部	30	「富士山の参詣曼荼羅の絵解き」
13	1月19日	世界遺産の会	一般	一般	西部	40	「富士山の歴史を学ぶ」
14	1月25日	ふじさんネットワーク	一般	エコレンジャー	東部	15	「富士山の歴史を学ぶ」

〈各論：文学〉

番号	開催日	団 体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	10月27日	伊豆市立修善寺図書館	一般	一般	東部	25	「古典文学と富士山」
2	12月4日	焼津市焼津公民館	一般	一般	中部	50	「富士山と近代文学」
3	12月12日	焼津市港公民館 ほのぼの学級	一般	70歳以上	中部	80	「古典文学と富士山」

〈各論：民俗・文化遺産〉

番号	開催日	団体	分類	受講者	地区	人数	タイトル
1	5月22日	静岡市立城北小学校	学校	小学5年生	中部	98	「世界遺産ってなあに」
2	6月28日	伊豆市社会教育課	一般	60歳以上	東部	30	「富士山の不思議なお話、ちょっと怖いお話」
3	9月26日	焼津市立大井川南小学校	学校	小学5年	中部	69	「富士山の不思議なお話、ちょっと怖いお話」
4	10月28日	御殿場市教育委員会社会教育課	一般	一般	東部	70	「富士山と私たちの暮らし」
5	10月30日	静岡県立浜松北高校定時制	学校	高校2年	西部	24	「富士山の不思議なお話、ちょっと怖いお話」
6	11月14日	富士宮市立西富士中学校	学校	中学1年生	東部	18	「富士山と私たちの暮らし」
7	11月14日	富士宮市立西富士中学校	学校	中学1年生	東部	18	「富士山の不思議なお話、ちょっと怖いお話」
8	12月13日	焼津公民館 すこやか学級	一般	70歳以上	中部	60	「富士山の不思議なお話、ちょっと怖いお話」

● 2-2-5 館内講座

1 館内講座概要

富士山について学ぶ機会の提供を目的として、富士山に係る最新の調査・研究及び、企画展示の見どころについて、一般の方々を対象に館内講座を実施した。毎月第3日曜日を開催基準日と設定し、多くの方々に参加していただいた。センターの研究員や外部の専門家と一般の方々が富士山を題材に、「広く交わる」有意義な講座を開催した。

2 実施状況

2019年度 受講者数335名

開催日	講座名	講師	人数(名)
4月27日	「江戸の遺伝子」	徳川記念財団 徳川恒孝理事長	71
5月19日	「富士・箱根・伊豆の活火山を作り上げた噴火の歴史とその特徴」	小林淳准教授	20
6月16日	「富士山に帰るかぐや姫 伝説と史跡」	富士山かぐや姫ミュージアム 秋山裕貴学芸員	60
7月21日	「静岡県の文化遺産からみる文化遺産保護の世界～文化を遺す仕組みとその役割～」	山川志典研究員	11

開催日	講座名	講師	人数 (名)
8月21日	「静岡県の植物」	ふじのくに地球環境史ミュージアム 早川宗志研究員	18
9月15日	「帝国の誕生－近代天皇と富士山イメージ」	松島仁教授	32
10月20日	「富士山の曼荼羅を絵解く」	大高康正准教授	26
11月17日	「溶岩洞穴をめぐる信仰」	山梨県立富士山世界遺産センター 堀内亨主幹	38
12月15日	「谷文晁と百花繚乱の江戸画壇」	松島仁教授	42
1月19日	「和歌と屏風絵」	田代一葉准教授	17
3月15日	「世界と日本のふるさと富士」	日本地図センター田代博氏	中止
合 計			335



● 2-2-6 世界遺産セミナー

1 概要

静岡県富士山世界遺産センターでは、調査研究の成果を広く社会に還元するため、毎年度2回の富士山世界遺産セミナーを開催している。

2019年度は8月に三島市との共催、11月に熱海市との共催により開催した。

2019年度開催実績

開催日	共催	テーマ・内容	参加人数
8月12日	三島市 (三島市民生涯学習センター)	『富士山麓の湧水の「科学」と「恵み」 —三島の大地と生活を潤す水—』 富士山の湧水について、噴出場所の地理的条件や起源・年代に関する科学的特徴、地域に与えている恵み等について講演した。	136人
11月3日	熱海市 (いきいきプラザ)	『伊豆マンダラの世界 ～伊豆・富士山の信仰の接点』 伊豆半島と富士山の信仰分野におけるつながりや、末代上人と日金山にまつわる伝承、伊豆半島内の修験道の行場の踏査等について講演した。	70人

(三島市におけるセミナーの様子)



(熱海市におけるセミナーの様子)



● 2-2-7 世界遺産ニュースレター

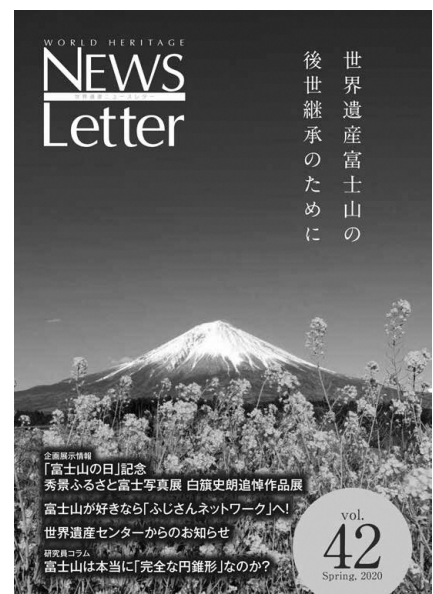
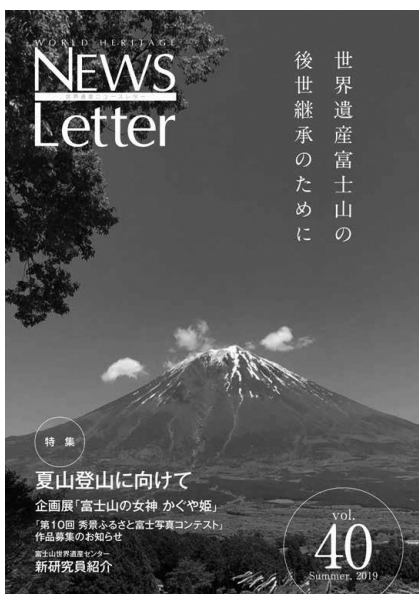
1 概要

世界遺産ニュースレターは、世界文化遺産登録前の2007年11月に「富士山」の世界文化遺産登録の気運醸成のため創刊した。

富士山世界遺産センターの開館後は、センターの企画展や国際シンポジウム等の情報や、富士山の夏山登山に関する情報等を中心に富士山の後世継承のため情報発信を行なっている。

2019年度実績

	頁	40号 (2019年6月)	41号 (2019年11月)	42号 (2020年2月)
紙面構成	2面	夏山登山に向けて	夏山登山報告 協力金の状況	企画展情報
	3面	かぐや姫展紹介 ふるさと富士募集 富士山世界遺産セミナーお 知らせ	特別企画展 谷文晁×富士山 富士山世界遺産セミナーお 知らせ	富士山ネットワーク 「富士山の日」 国際シンポジウム
	4面	新研究員紹介 「県民の日」	研究員コラム(山川研究員)	研究員コラム(小林准教授)



● 2-2-8 ホームページおよびFacebook紹介

静岡県富士山世界遺産センターでは、インターネットにおける情報発信の手段としてホームページおよびfacebookを使用している。

ホームページでは主に、企画展やイベントの情報を、facebookでは主に、イベント開催実績などタイムリーな出来事を発信した。

H P アドレス：<https://mtfujji-whc.jp/>

Facebook アドレス：<https://www.facebook.com/TheFujisanWHC/?fref=ts>

※ホームページアクセス数：2019年度 256,095回



● 2-2-9 公式ハンドブック

静岡県富士山世界遺産センターは、来館者の観覧の記念やお土産として、「公式ハンドブック」を制作した。

このハンドブックでは、世界遺産「富士山」の信仰や芸術、火山や自然について、展示の内容を中心に紹介するだけでなく、センターの特徴的な建築や収蔵品、センター研究員による書き下ろしコラムまで、幅広い内容をまとめたものとなっている。

2020年6月よりセンターミュージアムショップで販売を開始した。



2-3 広く交わる

2-3-1 国際シンポジウム

1 概要

“富士山学”の基礎となる「活火山 富士山」に焦点を当て、それらの最新の研究成果と、富士山の成り立ちとその容姿が、富士山の「信仰」と「芸術」を含む、日本の歴史、文化の深化や発展にどのように寄与したかについて紹介する「富士山学の頂へー富士山がもつ普遍的価値の多面性ー」を、2020年3月14日から15日にかけて、ふじのくに地球環境史ミュージアムとの共催により、静岡県コンベンションアーツセンター（グランシップ）で開催を予定していた。

しかし、2020年に入り、新型コロナウイルス感染症の感染が世界各地で拡大したことを受け、感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

なお、今回のシンポジウムの内容については、各講師からの承諾を頂いた上で、発表を予定していた講演の要旨をとりまとめた「シンポジウム記録集」を作成し、センターライブラリー等で公開している。

第4回 静岡県富士山世界遺産センター・ふじのくに地球環境史ミュージアム 合同国際シンポジウム
The 4th International Symposium in Shizuoka Prefecture, hosted Fujima and Mt. Fuji WHC

富士山がもつ普遍的価値の多面性
To the top of Fujiology

令和2年(2020年)
3月14日(土)~15日(日)

参加無料
※要予約申込み
申込受付期間:2020年2月10日(火)~2月27日(金)

会場 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」11階 会議ホール「風」

“富士山学”の基礎となる「活火山 富士山」に焦点をあて、それらの最新の研究成果を広く紹介します。また、激しい噴火を繰り返してきた「荒ぶる山」である富士山の成り立ちとその容姿が、富士山の「信仰」と「芸術」を含む、日本の歴史・文化の深化や発展にどのように寄与したかについて紹介します。

3月14日(土)	3月15日(日)
オープニングレクチャー 9:30~10:20 欧州の火山遺産と富士山 Opening Lecture Volcano heritages in Europe and Mt. Fuji	専門セッション1 9:30~11:50 時知らぬ山ー時空を越える富士山ー Professional Session no.1 Mt. Fuji depicted by historical landscape
専門セッション1 10:20~12:45 活火山 富士山を取り巻く大地の成り立ち Professional Session Volcanic and Environmental geology around Mt. Fuji	シンポジウム 13:15~16:20 富士山がもつ普遍的価値の多面性 Symposium The multifaceted universal value of Mt. Fuji
専門セッション2 13:46~16:30 富士山をめぐる宗教テキストと図像学 Professional Session Cultural Textology and Iconology about Mt. Fuji	■特別対話: ロナルド・D・イライノ(米中野) 富士山学への提言 ●講演1: 町田 謙(東京理科大学名誉教授) 設計と破壊を繰り返してきた富士山 ●講演2: 宮本 肇(東京理科大学名誉教授) 日本人のアイデンティティとしての富士山 ーパイロシエアート看「富士山」によせて ●講演3: タモシス・クリュー(ロシア連邦科学院) 足利の景観における富士山 ●パネル・ディスカッション 松島 七(静岡県立山形県立センター教授) ロナルド・D・イライノ(米中野) 静岡県富士山世界遺産センターの「富士山学」が抱くもの

お問い合わせ・参加申込み
静岡県富士山世界遺産センター
〒418-0067 静岡県富士宮市沼間5-12
TEL 0544-21-3776 FAX 0544-23-6800 <https://mtfuj-whc.jp>

静岡県 静岡県富士山世界遺産センター

● 2-3-2 視察受入

1 概要

2019年度は、県直営の世界遺産情報発信拠点施設という先進事例の視点から、各国大使や、国会議員、各県知事、市長、各地方自治体の議員の他、各自治体の世界遺産関係部署や観光部署及び施設運営関連部署等からの行政視察、建築関係及び観光関係等の民間企業や各種団体からの視察を含め、88件、984人受入れた。

(1) 件数

(単位：件)

年月	行政・議会							民間	その他団体	合計
	静岡県	県内市町	国	他県	海外(国)	海外(自治体)	合計			
2019年4月計	2	1	0	0	0	0	3	2	0	5
5月計	4	2	0	0	1	0	7	1	0	8
6月計	2	1	1	0	0	0	4	1	2	7
7月計	2	1	0	3	0	0	6	1	2	9
8月計	1	1	0	2	0	0	4	0	1	5
9月計	0	0	2	3	0	0	5	3	0	8
10月計	0	0	1	1	1	1	4	1	1	6
11月計	2	1	4	2	1	3	13	2	3	18
12月計	1	1	1	1	0	0	4	2	1	7
2020年1月計	1	1	0	2	0	1	5	1	1	7
2月計	0	0	0	2	1	0	3	1	0	4
3月計	0	0	0	1	0	0	1	1	2	4
計	15	9	9	17	4	5	59	16	13	88

(2) 人数

(単位：人)

年月	行政・議会							民間	その他団体	合計
	静岡県	県内市町	国	他県	海外(国)	海外(自治体)	合計			
2019年4月計	5	9	0	0	0	0	14	11	0	25
5月計	20	6	0	0	8	0	34	8	0	42
6月計	11	20	17	0	0	0	48	14	23	85
7月計	17	9	0	30	0	0	56	16	25	97
8月計	10	22	0	10	0	0	42	0	15	57
9月計	0	0	5	12	0	0	17	75	0	92
10月計	0	0	32	7	9	50	98	15	4	117
11月計	27	7	30	34	10	68	176	8	42	226
12月計	14	6	10	6	0	0	36	25	76	137
2020年1月計	8	8	0	9	0	14	39	3	14	56
2月計	0	0	0	4	4	0	8	6	0	14
3月計	0	0	0	15	0	0	15	2	19	36
計	112	87	94	127	31	132	583	183	218	984

● 2-3-3 地域貢献・広域連携（富士山ネットワーク加盟）

1 概要

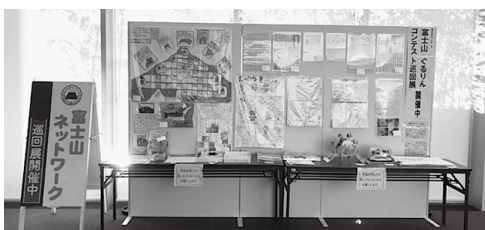
静岡県富士山世界遺産センターは、2018年度に、地域貢献、富士山周辺の博物館施設との広域連携を目的に、「富士山ネットワーク」に加盟した。

「富士山ネットワーク」とは、富士山を中心に点在する博物館関係施設が、サービスの向上と効果的なPRを目指して平成5年に組織したもので、現在、「富士山かぐや姫ミュージアム」「裾野市立富士山資料館」「富士山樹空の森」「奇石博物館」「富士サファリパーク」「富士山こどもの国」と当センターの7館園が加盟している。

夏休みには、小学生を対象に、作文、絵日記、工作などの作品を募集する「夏休み富士山ぐるりんコンテスト」を開催し、入選作品の表彰式や各館での巡回展を行なった。また、各館のイベントや市民イベント等に出展し、クイズや体験ブースを設置しPR活動を行なった。

2 主なPR活動

月日	内 容	場 所
5月17日	「博物館まつり」にて、PR活動	富士山かぐや姫ミュージアム
7月1日～ 9月1日	第18回 夏休み富士山ぐるりんコンテスト作品募集	各館
7月7日	「サマーフェスティバル」にて、PR活動	富士市交流プラザ
10月6日	「Do light フェスタ」にてPR活動	富士市昭和自動車学校
10月20日	夏休みぐるりんコンテスト表彰式 わくわく収穫感謝祭にてPR活動	奇石博物館
11月16日	ふじのくにアートクラフトフェアにてPR活動	富士市中央公園
3月14日	世界遺産センター春のイベント (コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)	富士山世界遺産センター



2-4 深く究める

2-4-1 巡礼路調査

1 概要

静岡県（事務局：静岡県富士山世界遺産センター）では、これまで総合調査が実施されていない登山道及び山麓の構成資産間を結ぶ巡礼路の研究計画を策定するとともに、巡礼路等の調査を実施するため、2015年に考古学、歴史学、民俗学、美術史といった各分野の学識者で構成される「富士山巡礼路調査委員会」を設置した。

2015年から2018年度にかけては、小山町との連携の下に、須走口登山道の調査を実施し、その成果は2018年度に『富士山巡礼路調査報告書 須走口登山道』として刊行した。

2017年度から2020年度にかけては、富士市及び富士宮市との連携の下に、大宮・村山口登山道の調査を実施中である。この調査の成果は、報告書『富士山巡礼路調査報告書 大宮・村山口登山道』として取りまとめるほか、シンポジウムの開催や静岡県富士山世界遺産センターの企画展等で紹介することとしている。

2 富士山巡礼路調査委員会の役割

- (1) 県が策定する巡礼路調査計画に関すること
- (2) 巡礼路調査の実施に関すること
- (3) 巡礼路調査報告書の作成に関すること
- (4) その他、巡礼路調査等に関すること

3 富士山巡礼路調査委員会の構成

職名	氏名	専攻分野	職名
委員長	中村羊一郎	民俗学	静岡産業大学総合研究所客員研究員
副委員長	菊池 邦彦	日本近世史	東京都立産業技術高等専門学校名誉教授
委員	時枝 務	歴史考古学	立正大学文学部教授
委員	松田香代子	民俗学	松田民俗研究所代表
委員	山本 勉	美術史（仏像）	清泉女子大学文学部教授

※事務局 静岡県富士山世界遺産センター学芸課（担当 大高康正）

4 事務局及び各市町担当者の業務内容

- (1) 富士山巡礼路調査委員会への出席
- (2) 調査予定先との連絡調整、現地調査の立会い

- (3) 登山道の経路を把握するための現地踏査（GPSデータの取得）
- (4) 現地調査先での資料調査（聞き取り調査、資料撮影など）
- (5) 調査成果の整理（撮影資料の目録採録、巡礼路調査報告書の分担執筆）

5 2019年度の調査内容

調査委員、調査補助員、富士市・富士宮市担当職員及び事務局センター研究員にて、下記のとおり各種調査を実施した。経路を確認するための現地調査を行い、参考となる文献資料の収集・整理と、関係者への聞き取り調査の実施、経路に関わる仏像の調査を行った。さらに委託調査にて、経路上にある施設跡の測量図、現地調査図面の作成を行った。

- ・ 5月26日 2019年度第1回調査委員会開催
- ・ 8月7日、8日 大宮・村山口登山道経路の現地踏査（2合目～5合目）
- ・ 10月16日～18日 村山浅間神社所蔵資料の調査
- ・ 10月28日～31日 村山浅間神社所蔵資料の調査
- ・ 12月4日 村山大日堂の仏像調査
- ・ 2月17日 村山大日堂の仏像調査
- ・ 2月17日、18日 富士塚・浅間神社等に関する民俗調査
- ・ 2月19日～21日 村山浅間神社所蔵資料の調査

※上記日程は委員参加分のみを抜粋。その他、適宜事務局と市町担当者として調査を実施。



富士宮市村山大日堂での仏像調査



大宮・村山口登山道における現地踏査

● 2-4-2 研究活動

○松島 仁（まつしま じん）教授

1 著書 なし

2 論文

- ・「富士山イメージの政治史—徳川将軍から近代天皇へ—」（『徳川将軍と富士山』、ことのは社、2019年5月）

3 報告書等 なし

4 その他の執筆

- ・「博物館展示のいま65 静岡県富士山世界遺産センター“富士山学”の拠点をめざして」（歴史系総合誌『歴博』、国立歴史民俗博物館、2019年5月）
- ・全作品解説及び論文「小泉檀山の富士登山図諸本と谷文晁筆「富士山中真景全図」（『谷文晁×富士山—山を写した時代の寵児』（展示図録）、静岡県富士山世界遺産センター、2019年12月）
- ・「美しき山」美術関係個所、及び「コラム 富士山と徳川将軍」執筆（『静岡県富士山世界遺産センター公式ハンドブック』、静岡県富士山世界遺産センター、2020年3月）

5 学会講演 なし

6 一般講演

- ・2019年8月21日「図書館講座 富士山絵画からみる「帝国」の誕生—幕末から明治の浮世絵を中心に—」（富士宮市立中央図書館）
- ・2019年12月22日「図書館講座 富士山を描いた“時代の寵児”文晁・北斎・抱一」（富士宮市立中央図書館）
- ・2020年2月22日「富士山の日講演会 日本の美と心 富士山」（富士市立中央図書館）

7 授業 なし

8 社会的活動

(1) 委員・役員

- ・徳川記念財団特別研究員

(2) 非常勤講師・客員教員等 なし

(3) 査読

- ・『美術史』第158冊査読委員（美術史学会）

(4) 学術交流・研究会の開催

- ・2019年9月9日 大阪城天守閣での共同調査（科研基盤研究（C）「東照宮縁起絵巻の研究」研究代表者鎌田純子）

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・「富士山美術館」監修（『山と溪谷』、第1015号「特集富士山」、山と溪谷社、2019年10月）

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

【テレビ】

- ・2019年5月17日 NHK静岡放送「おはよう静岡」「たっぷり静岡」（徳川将軍家と富士山展解説）

【ラジオ】

- ・2019年9月2日 ラジオF「ミュージアムリンク」(「徳川から明治へ」展解説)
- ・2019年12月2日 ラジオF「ミュージアムリンク」(「谷文晁×富士山」展解説)
- ・2020年1月6日 ラジオF「ミュージアムリンク」(「谷文晁×富士山」展解説)

【新聞】

- ・2019年8月23日 静岡新聞 伊豆・東部版「幕末の富士山絵画解説 松島教授(世界遺産センター)が講演」
- ・2019年8月23日 岳南朝日新聞「富士山絵画と各時代の権力との関係性など挙げ 世界遺産センターでの収蔵品展前に講座 松島さんが講演」
- ・2019年8月30日 静岡新聞 県内ワイド「幕末明治の霊峰 錦絵で 富士山世界遺産センターあすから収蔵品展」
- ・2019年8月31日 東京新聞 静岡版「幕末(将軍)から明治(天皇)へ 富士山は変わらず権威付け「舞台装置」」
- ・2019年8月31日 岳南朝日新聞「幕末明治期の「富士山」紹介 県富士山世界遺産センターきょうから収蔵品展 4章に分け浮世絵など展示」
- ・2019年9月3日 岳南朝日新聞「芸術鑑賞の勧め 裏側にある秘密」
- ・2019年12月7日 東京新聞 静岡版「「文晁の富士山」一堂に 県遺産センターきょうから江戸画展」
- ・2019年12月14日 静岡新聞 県内ワイド「谷文晁の富士山図解説 世界遺産センター教授が解説」
- ・2020年2月14日 岳南朝日新聞「富士宮市立中央図書館で美術講座 谷文晁などの絵師や作品解説」
- ・2020年2月23日 読売新聞 よみほっと「ニッポン探景 逆さ富士らせんに登る 静岡県富士山世界遺産センター(静岡県富士宮市)」
- ・2020年2月23日 静岡新聞 伊豆・東部版「富士中央図書館で松島教授 富士山の絵画 変遷解説」

10 海外学術調査 なし

○小林 淳(こばやし まこと) 准教授

- 1 著書 なし
- 2 論文 なし
- 3 報告書等 なし
- 4 その他の執筆

・‘Phreatic eruption history at the latest stage (since ca. 3ka) of Hakone Volcano.’ (Kobayashi, M., Mannen, K., Yamaguchi, T. and Nagai, M., International Workshop on the mechanism of Phreatic Eruption, January, 2020, 10-11)

5 学会講演

- ・17 February, 2020 ‘Construction of late Quaternary eruption history in and around the Izu Lolcabic Islands, off Tokyo’ (Aoki, K., Kobayashi, M., Murata, M., Nishizawa, F., Takahashi, T. and Suzuki, T), Ocean Science Meeting, Marine Geology and Sedimentology.
- ・2019年5月26日「房総沖掘削コアC9010Eに介在するテフラ層序－速報として－」(青木かおり・小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦、日本地球惑星科学連合2019年連合大会)
- ・2019年5月27日「伊豆諸島新島火山、大三山及び地内島におけるテフラ層序と間々下浦火山噴出物

との対比」(小林 淳・村田昌則・青木かおり・石村大輔・鈴木毅彦、日本地球惑星科学連合2019年連合大会)

- ・2019年5月27日「伊豆諸島神津島火山の最新期活動におけるテフラ層序とその噴火史」(小林 淳・村田昌則・西澤文勝・鈴木毅彦)、日本地球惑星科学連合2019年連合大会
- ・2019年5月27日「伊豆諸島北部、新島に分布する第四紀後期テフラの標準層序と岩石学的・地化学的特性－火山ガラスの主元素組成、斜方輝石、角閃石類の屈折率を中心に－」(青木かおり・小林 淳・西澤文勝・村田昌則・石村大輔・鈴木毅彦)、日本地球惑星科学連合2019年連合大会)
- ・2019年7月14日「箱根火山中央火口丘上の火口列とその形成年代」(小林 淳・萬年一剛・山口珠美・長井雅史)、国際噴火史情報研究集会2019-1
- ・2019年8月24日「箱根火山神山・大涌谷周辺の最新期火口列の形成年代と2015年噴火の位置づけ」(小林 淳・萬年一剛・山口珠美・長井雅史)、日本第四紀学会2019年大会
- ・2019年8月24日「伊豆諸島神津島火山の天上山及び櫛ヶ峰におけるテフラ層序とその対比」(村田昌則・小林 淳・青木かおり・鈴木毅彦)、日本第四紀学会2019年大会
- ・2019年8月23日「房総沖掘削コアC9010Eに介在するテフラ層の特徴と編年」(青木かおり・小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦)、日本第四紀学会2019年大会
- ・2019年9月27日「伊豆諸島神津島火山穴の山におけるテフラ層序と対比」(村田昌則・小林 淳・青木かおり・高橋尚志・鈴木毅彦)、日本火山学会2019年度秋季大会
- ・2019年9月27日「箱根火山神山・大涌谷周辺の火口列とその火山防災上の意味」(小林 淳・萬年一剛・長井雅史・山口珠美)、日本火山学会2019年度秋季大会
- ・2019年11月30日～12月1日「神津島火山巡検」(日本地質学会関東支部、首都大学東京火山災害研究センター、地質巡検の講師)
- ・2020年1月25日「富士・箱根～伊豆諸島北部にかけての爆発的なテフラ噴火史」(テフラシンポジウム－最近の年代観と供給源－)、日本地質学会関東支部

6 一般講演

- ・2020年1月5日、6日「神津島火山の成り立ち一数万年前に遡る爆発的噴火の歴史一」(神津島観光協会、観光まちづくりの支援アドバイザー派遣事業)
- ・2020年2月2日「火山ハザードマップの見方・読み方について」(静岡県危機管理部、静岡県ふじのくに防災士フォローアップ研修)
- ・2020年3月22日、23日「神津島“火山”の恵み一長年の噴火活動によって創出された資源」(神津島観光協会、観光まちづくりの支援アドバイザー派遣事業)

7 授業

- ・2019年8月8日「フィールドワーク富士山」(静岡県教育委員会、令和元年度「地域学」推進事業)
- ・2019年11月9日「世界文化遺産「富士山」と富士火山」(静岡大学、地域総合学環専門科目「自然遺産の保護と活用」)
- ・2019年11月12日「火山噴火に対するソフト対策・ハード対策について」(首都大学東京、都市環境科学特別講義第4)
- ・2019年11月19日「箱根山・富士山における火山対策について」(首都大学東京、都市環境科学特別講義第4)

8 社会的活動

(1) 委員・役員

- ・富士山火山防災協議会 構成機関（静岡県富士山世界遺産センター）
- ・箱根山火山噴火緊急減災対策砂防計画検討委員会 委員
- ・観光まちづくり支援アドバイザー（派遣先：神津島観光協会）（東京観光財団）

(2) 非常勤講師・客員教員等

- ・静岡大学防災総合センター 客員准教授
- ・首都大学東京都市環境学部 客員准教授

(3) 査読

- ・地学雑誌（東京地学協会）
- ・地質学雑誌（日本地質学会）

(4) 学術交流・研究会の開催 なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・2019年11月21日～22日 国土地理院、火山防災地形調査「箱根山」に伴う現地解説

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

- ・2019年12月29日 静岡新聞「1万年の地層露呈—噴火や山体崩壊で堆積—」
- ・2020年12月30日 静岡新聞「県内火山学者インタビュー ハザードマップ改定進む」

10 海外学術調査 なし

○大高 康正（おおたか やすまさ）准教授

1 著書 なし

2 論文

- ・「菟足神社所蔵 富士山・熱田信仰史資料調査報告」（阿部美香・大高康正・井上卓哉・阿部泰郎・伊藤聡・三好俊徳・猪瀬千尋（共著）、『学苑』949号、昭和女子大学、2019年11月）

3 報告書等

- ・「史料研究・成果公開 一般共同研究「参詣曼荼羅図を中心とする富士山信仰史資料の総合的研究と公開」（『東京大学史料編纂所報』54号、東京大学史料編纂所、2019年10月）

4 その他の執筆

- ・「世界文化遺産「富士山」登録前後の動向」（Hパイロンエアハート著・宮家準監訳・井上卓哉訳『富士山—信仰と表象の文化史』、慶應義塾大学出版会寄稿、2019年4月）
- ・「徳川将軍に献上された幻の名産品—富士山東泉院と善徳寺酢—」分担執筆（静岡県富士山世界遺産センター、公益財団法人徳川記念財団編『徳川将軍と富士山』、静岡県文化財団企画、ことのは社、2019年5月）
- ・「聖なる山」 「コラム 富士山の開山日」分担執筆（『静岡県富士山世界遺産センター公式ハンドブック』、静岡県富士山世界遺産センター、2020年3月）

5 学会講演

- ・2019年7月6日、7日「中世の富士登山信仰を絵解く」、日本旅行医学会講座
- ・2019年10月26日「古絵図にみる村山集落の形成」、富士学会2019年秋季学術大会 in 富士宮「中世の村山修験と地域支配」

6 一般講演

- ・2019年11月3日「伊豆・富士山の信仰の接点」(第10回富士山世界遺産セミナー「伊豆マンダラの世界～伊豆・富士山の信仰の接点」)、静岡県富士山世界遺産センター、熱海市教育委員会

7 授業

- ・2019年9月27日「静岡と世界遺産」(東海大学短期大学部)
- ・2019年10月15日「富士山と富士山信仰」(静岡文化芸術大学)
- ・2019年11月30日「富士山の信仰」「富士山の参詣曼荼羅」、ふじのくに地域・大学コンソーシアム講義
- ・2019年12月7日「「ふじのくに学(富士山)」野外実習」、ふじのくに地域・大学コンソーシアム講義

8 社会的活動

(1) 委員・役員

- ・小山町文化遺産を活かした巡拝の道づくり委員会委員
- ・静岡市文化財保護審議会審議委員(～2019年7月)
- ・日本山岳修験学会評議員(～2019年9月)
- ・日本山岳修験学会理事(2019年10月～)
- ・富士市文化財保護審議会審議委員

(2) 非常勤講師・客員教員等 なし

(3) 査読

- ・日本山岳修験学会2019年度第28回学会賞・第15回奨励賞選考委員

(4) 学術交流・研究会の開催

- ・2019年度東京大学史料編纂所一般共同研究「参詣曼荼羅図を中心とする富士山信仰史資料の総合的研究と公開」(研究代表:大高康正)
- ・2019年8月21日～23日「第57回中世史サマーセミナーシンポジウム「富士山南麓から広がる中世社会一境界としての駿河一」」(実行委員、シンポジウム司会)

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・「時代を越え、崇められ続ける山」、「現代に続く富士山麓の祭事」監修(『山と溪谷』第1015号「特集富士山」、山と溪谷社、2019年10月)

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

- ・2019年12月19日 NHK静岡放送「たっぷり静岡」(初詣特集企画)出演
- ・2020年2月23日 読売新聞日曜版「よみほっと」(富士山特集企画)取材
- ・2020年2月23日 エフエムみしま・かなみボイスキュー:「富士山からのおくりもの(歴史と文化)」出演

10 海外学術調査 なし

○田代一葉(たしろ かつは) 准教授

1 著書

- ・『晩華和歌集／賀茂翁家集』(和歌文学大系69)、(久保田淳監修、大山和哉、鈴木健一、田代一葉、田中仁著(共著)、明治書院、2019年10月)

2 論文

- ・「近藤守重編『富士の煙』にみる徳川将軍家と詩歌」（『徳川将軍と富士山』〈静岡の文化1〉、ことのは社、2019年5月、pp.121-145）

3 報告書等 なし

4 その他の執筆

- ・「美しき山（文学）」、「コラム「芸術の源泉」としての富士山」、そのほか館内展示、施設案内など（『静岡県富士山世界遺産センター公式ハンドブック』、静岡県富士山世界遺産センター、2020年3月）

5 学会講演

- ・2020年11月9日「寛政期の清涼殿障子和歌制作―日野資矩の役割を中心に―」、日本近世文学会令和元年秋季大会研究発表

6 一般講演

- ・2019年8月15日「『令和』と『万葉集』」、ふじのくに地球環境史ミュージアムサマーミュージアムイベント

7 授業 なし

8 社会的活動

(1) 委員・役員 なし

(2) 非常勤講師・客員教員等 なし

(3) 査読 なし

(4) 学術交流・研究会の開催 なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・H. バイロンエアハート著・宮家準監訳・井上卓哉訳『富士山―信仰と表象の文化史』（慶應義塾大学出版会、2019年）の引用歌の原典などについての調査協力
- ・「文学史から見る富士山 古代―近世」監修（『山と溪谷』、第1015号「特集富士山」、山と溪谷社、2019年10月）

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

ラジオ出演

- ・2019年10月7日、ラジオF「ミュージアムリンク」出演
- ・2020年3月7日、NHKラジオ第一「石丸謙二郎の山カフェ」（特集「日本全国ふるさとの富士」）出演

10 海外学術調査 なし

○山川 志典（やまかわ ゆきのり）研究員

1 著書 なし

2 論文

- ・「地域の伝承に関連する文化遺産保護の新展開―研究動向と富士山麓での展望」（『環境考古学と富士山』第4号、雄山閣、2020年3月）

3 報告書等

- ・「第19回文化資源学フォーラム「富士と旅～旅メディアのこれまでこれから～」」（東京大学大学院

人文社会系研究科文化資源学専攻、2020年3月)、発言箇所

4 その他の執筆

- ・「富士山世界遺産センター 新研究員紹介」(世界遺産ニュースレター第40号、2019年5月)
- ・「茶農家の暮らしと茶草場の関わり―世界重要農業遺産システムを契機とした「暮らしを調べること」の展望―」(『静岡県民俗学会会報』第173号、2019年10月、pp.1-6)
- ・「研究員コラム「世界遺産を伝え遺していくために―第43回世界遺産委員会の内容から―」(世界遺産ニュースレター第41号、2019年11月)
- ・「受け継ぐ山」、コラム「富士山を受け継ぐために」分担執筆(『静岡県富士山世界遺産センター公式ハンドブック』、静岡県富士山世界遺産センター、2020年3月)

5 学会講演

- ・2019年12月15日「第19回文化資源学フォーラム「富士と旅～旅メディアのこれまでこれから～」(主催：東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻)、コメンテーター

6 一般講演

- ・2020年2月16日「富士山と韮山反射炉からみえてくる世界遺産のこれまでとこれから」(令和元年度静岡県「世界遺産」県民講座「県内ふたつの世界遺産のこれまでとこれから～登録後数年が経過して～」)

7 授業

- ・2019年6月17日「グローバル共生研究Ⅷ 農からの社会再生」農と社会(4) 農と祭り、聖心女子大学

8 社会的活動

(1) 委員・役員

なし

(2) 非常勤講師・客員教員等

- ・神奈川県国際常民文化研究機構 共同研究者

(3) 査読 なし

(4) 学術交流・研究会の開催 なし

(5) 他施設・団体への協力と県民からの問い合わせ対応

- ・卒業論文等研究に関する対応2件
- ・富士山・世界遺産に関する問い合わせ適宜対応

9 テレビ・ラジオ・新聞等への出演

- ・2019年12月2日 KBS京都「ご利益さん第9回富士山本宮浅間大社」

10 海外学術調査 なし

● 2-4-3 資料収集

1 資料収集の方針

静岡県富士山世界遺産センターでは、設置目的である富士山の価値の後世継承、富士山学の研究、情報発信拠点としての役割を果たすため、富士山に関する資料を以下の視点から収集している。

- (1) 世界遺産「富士山」の「信仰の対象」と「芸術の源泉」としての価値を証明する資料を収集する。
- (2) 収集により、富士山に関する貴重な資料の散逸を防ぎ、適切な保存環境にしておくことで、文化財として保護を行う。
- (3) 世界遺産富士山に関する幅広い領域にわたる資料を収集し、センターとして特色あるコレクションを構築する。

2 2019年度収集作品

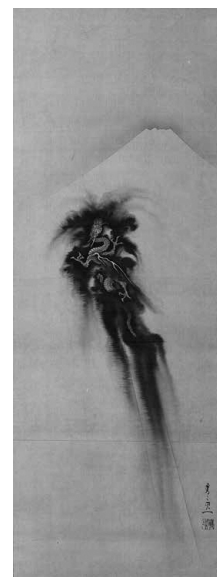
2019年度においては、以下の作品を収集した。

(1) 購入

- ・鈴木其一 (1796/95～1858) 筆「富士越龍図」 絹本墨画 一幅 縦91.5×横33.5cm 弘化元年 (1844) 頃～安政5年 (1858)
- ・谷文晁 (1763～1841) 筆・／松平定信 (1758～1829)・本居大平 (1756～1833) 賛「富士山図」 紙本淡彩 一幅 縦43.5×横65.6cm 文化年間 (1804～1818) 前半
- ・谷文晁筆／谷麓谷(1729～1809)賛「富士山図」 紙本淡彩 一幅 縦57.0×横100.0cm 享和元年(1801)
- ・葛飾北斎 (1760～1849) 画「東海道名所一覽」 錦絵 大々判 一枚 縦43.0×横58.0cm 文政元年 (1818)
- ・歌川貞秀 (1807～79)・二代歌川国貞 (1823～80)・二代歌川広重 (1826～69)・二代歌川国輝 (1830～74)・歌川芳盛 (1830～85)・落合芳幾 (1833～1904)・豊原国周 (1835～1900)・月岡芳年 (1839～92) 画『末廣五十三次』 画帖 一帖 (錦絵大判五十五枚) 縦35.9×横26.7cm 慶応元年 (1865)



谷文晁 富士山図



鈴木其一 富士越龍図

3 施設・組織・予算

3-1 センター施設概要

1 建物概要

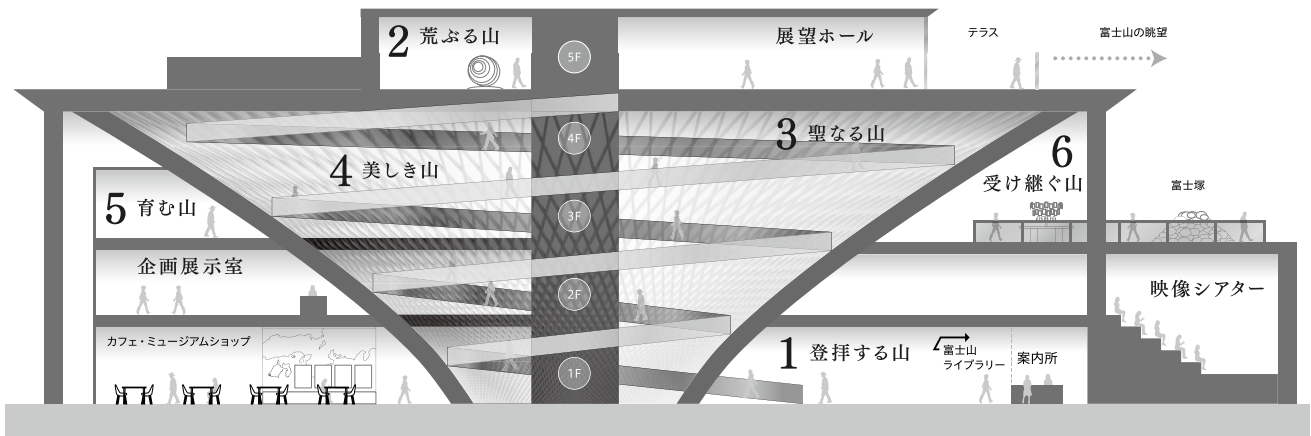
名 称	静岡県富士山世界遺産センター Mt.FUJI WORLD HERITAGE CENTRE, SHIZUOKA
敷地面積	6,086.7㎡
延床面積	3,410.98㎡
構 造	鉄骨造（5階建て）
設 計	株式会社坂茂建築設計
施 工	建 築 佐藤工業・若杉組特定建設工事共同企業体 電 気 住友・三和特定建設工事共同企業体 機 械 須賀・遠藤特定建設工事共同企業体 防音壁 株式会社若杉組 収蔵庫 金剛株式会社 外 構 佐藤工業株式会社静岡営業所 さく井 土屋産業株式会社 サイン 株式会社若杉組
展示設計・施工	株式会社丹青社
西棟左官造作・富士塚制作	挾土 秀平（職人社 秀平組）

富士ヒノキの木格子の外壁を持つ建物は「逆さ富士」を表現し、前面の水盤に映り込むと「富士山」の姿が現れる。水面に映る富士山は、内部に豊富な湧水をたたえた「水の山」としての富士山を象徴的に表している。

富士山の湧水を館内に取り込み、空調熱源として利用した後、水盤に利用し、富士の水の循環を建築的にも表現している。



2 フロアマップ



この施設では、スロープを上りながら富士登山を感じ、本物の富士山に出会い、世界遺産「富士山」について学ぶ、「富士山」を満喫する体験を提供している。

展示については、「富士山の総合的、学際的、国際的な研究活動を展開していく中で、各コーナーが有機的につながりあう展示」「世界からの来館者を感化する展示」をテーマとしている。

3 施設概要

所在地 静岡県富士宮市宮町5-12

T E L 0544-21-3776

F A X 0544-23-6800

営業時間 9:00~17:00 (7、8月は18:00、
最終入館は閉館の30分前)

休館日 毎月第3火曜日、施設点検日

観覧料 300円 (団体割引あり)

70歳以上、大学生以下、障害者等は無料 (要証明)

企画展は別途料金を設定

アクセス JR身延線富士宮駅から徒歩8分

新東名高速道路新富士ICから約10分

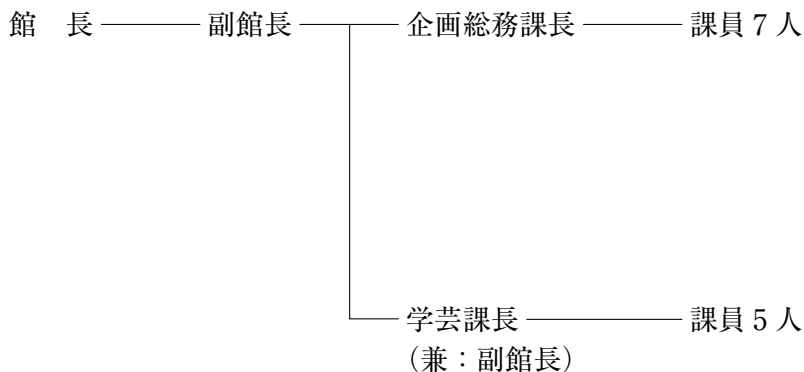
東名高速道路富士ICから約15分



3-2 職員

1 組織図・職員（2019年度）

〈組織図〉



課長	1人
班長	1人
主幹	1人
主査	1人
主任	1人
主事	3人

課長（兼務）	1人
教授	1人
准教授	3人
研究員	1人

職員数計 14人

（その他非常勤職員）

職名	人数
非常勤嘱託員	3人

〈職員〉

館長	遠山 敦子
副館長	落合 徹
企画総務課長	小野 一
企画総務班長	服部 広輝
企画総務課主任	宇佐美綾乃
企画総務課主事	加藤 慎也
企画総務課主事	荒木 玲美
企画総務課主事	小野寺 輝
企画総務課主幹	植野 秀樹
企画総務課主査	白鳥 稔
学芸課教授	松島 仁
学芸課准教授	小林 淳
学芸課准教授	大高 康正
学芸課准教授	田代 一葉
学芸課研究員	山川 志典
非常勤職員	遠藤 香澄
	渡邊 敦美
	渡邊 美紀

3-3 予算概要

1 富士山世界遺産センター管理運営事業費（2019年度）

歳出の部

（単位：千円）

項 目	予算額 (9月補正後)	決算額	内 容	
守る	人材養成	565	287	世界遺産ガイドのスキルアップ講座
伝える・ 交わる	教育普及	3,000	2,087	世界遺産セミナー、館内講座、出前講座の実施
	展 示	71,906	47,223	常設展示の更新、企画展の開催
	情報発信	15,614	5,901	ホームページ、ニュースレター等様々な情報発信
究める	調査研究	14,855	7,289	巡礼路調査、分野別研究
	資料収集	16,103	15,382	収蔵品購入
維持管理		127,887	112,581	光熱水費、接遇スタッフ、設備運転、清掃、定期点検 ほか
増 築		5,300	3,755	センターの機能強化のための内装改修、増築
事 務 費		22,070	22,169	非常勤職員人件費、消耗品費、印刷費、職員旅費 ほか
歳 出 計		277,300	216,674	

歳入の部

（単位：千円）

項 目	予算額 (当初)	決算額	内 容
観覧料収入	46,296	42,002	常設展観覧料、特別展観覧料
その他収入	5,420	5,267	庁舎貸付料、物品貸付料等
歳 入 計	51,716	47,269	

4 資料

4-1 入館者数データ

2019年月間入場者数推移

(単位：人)

年	月	全体	入場券発券数						
			一般	団体	小人	学生	高齢者	その他	計
2019	4月計	31,903	12,238	3,367	2,200	751	5,268	793	24,617
2019	5月計	36,286	14,108	3,007	2,885	1,054	5,654	1,168	27,876
2019	6月計	21,881	6,870	2,480	1,022	508	3,765	806	15,451
2019	7月計	25,428	8,234	2,132	3,305	827	2,943	544	17,985
2019	8月計	31,444	13,458	1,009	4,031	1,278	2,078	1,541	23,395
2019	9月計	24,230	8,158	1,163	1,569	892	5,370	605	17,757
2019	10月計	25,104	7,177	1,790	1,434	800	5,012	1,528	17,741
2019	11月計	34,395	11,143	4,954	1,714	422	7,083	881	26,197
2019	12月計	11,825	4,470	1,255	523	282	1,595	287	8,412
2020	1月計	31,545	12,080	1,656	1,846	664	3,851	911	21,008
2020	2月計	28,532	6,974	2,442	989	676	3,915	3,182	18,178
2020	3月計	12,426	4,877	20	776	846	683	227	7,429
2019年度累計		314,999	109,787	25,275	22,294	9,000	47,217	12,473	226,046

4-2 2019年度の休館日

センターの休館日は、毎月第三火曜日、施設点検日、年末年始と定めている。

2019年度における休館日は以下のとおりである。

〈毎月第三火曜日〉 4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、
11月19日、12月17日、1月21日、2月18日、3月17日

〈施設点検日〉 6月10日～6月14日、12月3日～6日

〈年末年始〉 12月27日～12月31日

〈その他〉 10月12日※台風接近に伴う臨時休館

4-3 報道実績

1 概要

静岡県富士山世界遺産センターは、2017年12月の開館から新聞報道や旅行番組や情報番組によるテレビ報道、旅行雑誌や各種情報誌など多方面にて紹介されてきた。

特に、夏の富士山開山期間や2月23日「富士山の日」などにあわせて、富士山の拠点施設として広く報道された。

報道実績一覧表【センター独自集計による】

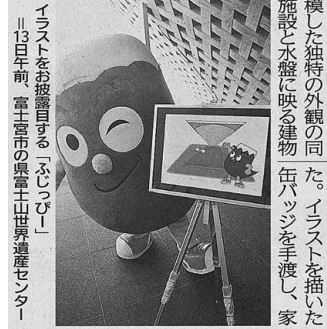
	新聞	テレビ (県内ニュース)	テレビ (その他)	雑誌	合計
4月	8	8	0	1	17
5月	2	6	1	1	10
6月	1	4	2	4	11
7月	1	4	0	2	7
8月	4	4	0	1	9
9月	5	9	0	1	15
10月	3	4	2	1	10
11月	1	4	1	2	8
12月	6	3	2	2	13
1月	1	5	2	2	10
2月	4	3	0	2	9
3月	2	5	0	5	12
合計	38	59	10	24	131

※テレビ（その他）は、県内ニュースを除く県内情報番組及び全国番組での放映回数

世界遺産センター外観イラスト
ふじっぴー活用し作成

富士山
「なく世界遺産」

富士山が「なく世界遺産」のイラストを作成した。逆さ富士を



イラストをお披露目する「ふじっぴー」
13日午前、富士山の県富士山世界遺産センター

を組み合わせた。お披露目時にふじっぴーが登場し、来館者にイラストを紹介した。イラストを描いた任ハジを手渡し、事前講座の資料などに役立つという。

センターでは同日から、夏休みに合わせた館内イベントが始まった。16日まで、1階研修室でオリジナル缶バッジ作りや富士山折り紙体験などが楽しめる。

徳川将軍家の逸品展示

富士山世界遺産センター

富士山の県富士山世界遺産センターで27日から、春季特別展「徳川将軍と富士山」を開催する。同センター主催、公財団法人徳川記念財団共催で、5月26日まで、徳川将軍家に伝わる逸品などを集めた。歴代将軍の事績や江戸文化の一端を紹介する。



徳川将軍家に伝わる数々の品を展示する特別展＝26日午前、富士山の県富士山世界遺産センター

きょうから

「東照大権現像」や家康が愛蔵した実用的な太刀「銘来国光」、5代将軍綱吉による富士山が「江戸の遺伝」と題して特別講演する。事前申し込み制。

「罫紙（はがき）三六景」の江戸日本橋をはじめ、江戸後期に活躍した絵師たちの作品もそろそろ。大型連休中と同展期間中の土日祝日は午後2時から、専門家によるギャラリートークを行う。

初日の27日午後1時

半～3時、富士山立中央図書館で関連イベントが開かれる。同財団理事長で徳川宗家18代目当主の徳川恒孝さんが「江戸の遺伝」

2019年4月27日 静岡新聞

2019年8月14日 静岡新聞

令和へつながる世界遺産

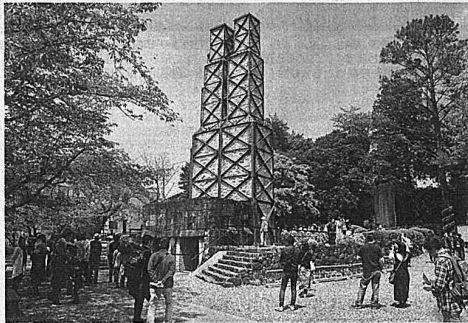
10連休2日目 来訪者にぎわう

関係者「魅力後世に」

富士山反射炉

富士山センター

天皇の代わりに伴って最大10連休となるゴールデンウィーク（GW）。県内の世界遺産や関連施設は連休2日目の28日、好天に恵まれ、多くの来訪者が足を運んだ。関係者は連休を絶好の機会と捉え、「令和」の時代を迎える後世に普遍的価値を伝える思いを新たにしている。



多くの来訪者でぎわう富士山反射炉
28日午前、伊豆の国市



富士山が会場者を出迎えた展望ホール
28日午後、富士山の県富士山世界遺産センター

世界遺産登録されたの国市と観光企画画し、誘客に力を入れ、誘客に力をいれて、休初日と比べて約302015年度をピーク「静岡アステイネーション」している。今年の大連休0人少なかったが、28日に、入場者数の減少が、ヨシキャンパインに、休初日の入場者数は、日は前年とほぼ同数の、続く富士山反射炉（伊豆）合わせたイベントを企画、雨天の影響で前年の連約1600人が訪れた。

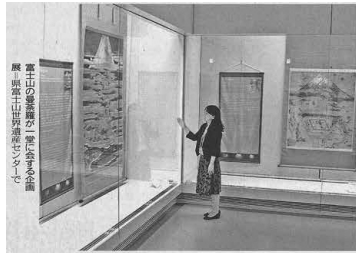
た。ポランテアガイドの勝呂武さん(81)は「今年は自家用車で訪れた。裾野まで一歩も出る雄大な富士山が出現する。最上階の展望ホールでは、多くの人が写真撮影を楽しんだ。連山館子館長は「時代が変わっても常に変わらぬのが富士山。次の世代に誇りが施設に託す」と語り、力を伝えたい」と語った。

富士山世界遺産センター（富士山）は連休に合わせ、徳川将軍家に伝わる逸品を紹介する春季特別展を開催。新規のほか、リピーターも取り込みを図る。17日午の開館以来の延べ来館者数は、連休中に65万人に到達する見通しだ。

2019年4月29日 静岡新聞

富士の曼荼羅楽しんで

富士宮の世界遺産センターで企画展



富士宮の世界遺産センター（富士市宮）は、21日から、収蔵庫「川村」で企画展「富士宮の世界遺産センター」を開催する。展示は、明治時代の世界遺産「富士山」の歴史を、参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。

参詣者による、神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。

北麓参詣原画も特別出品

北麓参詣原画も特別出品。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。

物産図説「青山陣兵馬図式図」（原富士山世界遺産センター提供）



将軍幕末から明治へ

富士山は変わらず 権威付け「舞台装置」



富士山は変わらず 権威付け「舞台装置」。明治時代の世界遺産「富士山」の歴史を、参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。

観兵式図や当時の「理想郷」など。明治時代の世界遺産「富士山」の歴史を、参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。参詣者による富士山登山の歴史「がわかる。神が描かれた絵巻である。この、十八、十七世紀のものが多く、全国四十ヶ所から集められた。

2019年 8月31日 東京新聞

2019年 10月24日 東京新聞

霊峰の魅力 後世へ



富士山疑似登山／最上階から本物

静岡世界遺産センター開館2年。静岡世界遺産センターは、2017年11月に開館した。静岡県富士市宮町、遠山牧子館が開設から2年余りとなった。年間30万人を見込んでいた来館者は予想を上回り、これまでに延べ約90万人になった。海外からの来館者も増えており、世界遺産の情報発信拠点として「富士山の日」を、同センターの魅力を紹介しよう。

静岡世界遺産センターは、2017年11月に開館した。静岡県富士市宮町、遠山牧子館が開設から2年余りとなった。年間30万人を見込んでいた来館者は予想を上回り、これまでに延べ約90万人になった。海外からの来館者も増えており、世界遺産の情報発信拠点として「富士山の日」を、同センターの魅力を紹介しよう。

静岡世界遺産センターは、2017年11月に開館した。静岡県富士市宮町、遠山牧子館が開設から2年余りとなった。年間30万人を見込んでいた来館者は予想を上回り、これまでに延べ約90万人になった。海外からの来館者も増えており、世界遺産の情報発信拠点として「富士山の日」を、同センターの魅力を紹介しよう。

静岡世界遺産センターは、2017年11月に開館した。静岡県富士市宮町、遠山牧子館が開設から2年余りとなった。年間30万人を見込んでいた来館者は予想を上回り、これまでに延べ約90万人になった。海外からの来館者も増えており、世界遺産の情報発信拠点として「富士山の日」を、同センターの魅力を紹介しよう。

静岡世界遺産センターは、2017年11月に開館した。静岡県富士市宮町、遠山牧子館が開設から2年余りとなった。年間30万人を見込んでいた来館者は予想を上回り、これまでに延べ約90万人になった。海外からの来館者も増えており、世界遺産の情報発信拠点として「富士山の日」を、同センターの魅力を紹介しよう。

2020年 2月23日 毎日新聞

4-4 来館者アンケート結果

1 概要

来館者の動向、評価等をモニタリングするため、複数回のアンケートを実施した。

2 実施結果

(1) 第一回

・日本語によるアンケート

○来館日 2018年1月29日～2月12日
15日間（平日10日間・土日休日5日間）

○総人数 420人（男191人・女229人）

・英語によるアンケート

○来館日 2018年5月8日～5月31日
24日間（平日18日間・土日休日6日間）

○総人数 68人（男43人・女25人）

(2) 第二回（日本語・英語によるアンケートを実施）

○来館日 2018年9月20日～11月13日
54日間（平日36日間・土日休日18日間）

○総人数 436人（男202人・女234人）

(3) 第三回（日本語・英語によるアンケートを実施）

○来館日 2019年10月1日～11月30日
61日間（平日42日間・土日休日19日間）

○総人数 167人（男85人・女80人）

(4) 各回比較結果

○年齢構成

20歳未満が徐々に増加している。

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
第一回	15%	5%	4%	9%	19%	24%	24%
第二回	17%	7%	5%	10%	5%	29%	28%
第三回	20%	4%	5%	8%	14%	24%	25%

○居住地の区分

国外、県外が大きく増加し、過半数を超えた。

	外国	県外	県西部	県中部	県東部	内地元二市
第一回	—	17%	8%	28%	47%	(26%)
第二回	8%	31%	13%	20%	28%	(17%)
第三回	13%	45%	3%	14%	24%	(14%)

入館者に配布するリーフレットでは、外国語が15%となっている。

・県外の内訳

全体数が伸びている中で、人工集積地である関東地区の割合が最も多いが、北陸甲信地区が増加するとともに、幅広い地域から来館している。

	北海道・東北	関東	東海	北陸甲信	関西	中国・四国	九州
第一回	4%	48%	26%	4%	7%	6%	4%
第二回	1%	53%	16%	11%	13%	7%	0%
第三回	1%	44%	20%	15%	11%	4%	5%

県別上位 神奈川19% 東京15% 愛知9% 岐阜・山梨8% 千葉・大阪・兵庫・福岡4%

・海外の内訳

幅広い地域から来館している。オーストラリアが増加したがラグビーWCの影響と思われる。また、英語アンケートのため、中国が実数より少ないと推測される。

	アジア	北米	欧州	その他
5月調査	8%	48%	41%	3%
第二回	44%	18%	26%	12%
第三回	32%	18%	23%	27% (内オセアニア23%)

国別上位 USA・オーストラリア 14% 台湾・タイ・スリランカ・UK 9%

※参考 受付における外国語リーフレット配布数(10月、11月)

言語	英語	韓国語	中簡語	中繁語	その他	計
枚数	1,880	118	1,511	988	2,134	6,631
比率	28%	2%	23%	15%	32%	

○センターまでの交通手段（複数回答OK）

自家用車から、公共交通機関にシフトされてきている。遠隔地からの来館の増加に伴い新幹線・航空機が増加している。

	新幹線	在来線	路線バス	観光バス	車	徒歩	航空機
第一回	4%	10%	0%	5%	78%	6%	1%
第二回	6%	11%	4%	29%	52%	6%	4%
第三回	11%	19%	4%	26%	42%	6%	13%

○来館回数

リピーターが徐々に増加している。3回以上には県外者（神奈川、山梨）もいる。

	初めて	2回目	3回以上
第二回	89%	8%	3%
第三回	84%	10%	6%

※参考 大和ミュージアム 23%（開館11年目の2回以上来館者）

○センターの認知（複数回答OK）

新聞・テレビに比して、最近、露出が多い旅行雑誌での認知が増加している。

	新聞	雑誌	ネット	テレビ	ラジオ	知人	その他
第一回	41%	7%	13%	45%	4%	20%	13%
第二回	25%	9%	14%	36%	3%	25%	15%
第三回	15%	16%	17%	30%	3%	25%	14%

○今日はお一人ですか、それともグループですか。

交通手段が観光バスと回答した人が、家族・友人と回答しているのが散見されるため、それほど変化はないと考えられる。

	一人	家族	友人グループ	団体
第一回	12%	63%	19%	6%
第二回	12%	46%	15%	27%
第三回	11%	46%	22%	21%

○今回は県内に御宿泊の予定はありますか。

宿泊者が着実に増加している。遠隔地からの宿泊ツアーも増加している。

	有	無
第一回	11%	89%
第二回	24%	76%
第三回	31%	69%

○他の立ち寄り場所（今回初めて項目とした。）

半数以上が浅間大社に立ち寄っている。また、北陸甲信地区の来館者増が、白糸周辺や朝霧高原への立ち寄りに寄与していると考えられる。

	浅間大社	白糸の滝	朝霧高原	その他
第三回	55%	27%	16%	10%

4-5 施設管理条例・規則

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

平成29年10月24日

条例第35号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 世界遺産富士山（静岡県世界遺産富士山基本条例（平成27年静岡県条例第31号）第2条第1号に規定する世界遺産富士山をいう。以下同じ。）の有する顕著な普遍的価値（同条第3号に規定する顕著な普遍的価値をいう。）についての県民の理解を深めることにより、当該顕著な普遍的価値を後世に引き継ぐこと及び県民文化の向上に寄与することを目的として、静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）を富士宮市に設置する。

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、午前9時から午後5時まで（7月及び8月にあつては、午前9時から午後6時まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第4条 センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

- (1) 毎月の第3火曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日にあたるときは、その日後においてその日に最も近い日曜日、土曜日又は同法に規定する休日でない日）
- (2) 12月27日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 センターに展示されている世界遺産富士山に関する資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

(特別観覧)

第6条 知事は、センターに収蔵されている世界遺産富士山に関する資料等について学術研究等のために必要があると認めるときは、当該資料等の模写、模造、撮影等（以下「特別観覧」という。）をしようとする者に対して、当該特別観覧を承認することができる。

2 前項の規定による承認には、センターの管理のために必要な限度において条件を付することができる。

（特別観覧料）

第7条 特別観覧をしようとする者は、別表第2に定める額の特別観覧料を前納しなければならない。

（観覧料等の減免）

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は特別観覧料（以下「観覧料等」という。）を減免することができる。

（観覧料等の不還付）

第9条 既納の観覧料等は還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（委任）

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、平成29年12月23日から施行する。

別表第1（第5条関係）

(1) 常設展示

利用区分	観覧料
個人	300円
団体	1人につき 200円

備考

- 1 個人とは、満15歳以上の者であって、中学校、高等学校及び大学の在学者並びにこれらに準ずる者以外のものをいう。
- 2 団体とは、20人以上をいう。
- 3 企画展示と常設展示を併せて観覧する場合の常設展示の観覧料は、減免することができる。

(2) 企画展示

1,500円を限度として知事とその都度定める額

別表第2（第7条関係）

利用区分	特別観覧料
模写	1点1日につき 2,000円
模造	1点1日につき 2,000円
撮影	1点1回につき 4,000円
熟覧	1点1日につき 1,000円
原板使用	1点1回につき 3,000円

○静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

平成29年10月24日

規則第41号

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則をここに公布する。

静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例施行規則

（趣旨）

第1条 この規則は、静岡県富士山世界遺産センターの設置、管理及び使用料に関する条例（平成29年静岡県条例第35号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（入館時間）

第2条 静岡県富士山世界遺産センター（以下「センター」という。）の入館時間は、午前9時から午後4時30分まで（7月及び8月にあつては午前9時から午後5時30分まで）とする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（観覧手続）

第3条 常設展示又は企画展示（以下「常設展示等」という。）を観覧しようとする者は、条例第5条の観覧料（以下「観覧料」という。）を納付し、観覧券の交付を受けなければならない。ただし、知事が認めた団体については、観覧後に観覧料を納めることができる。

（特別観覧手続）

第4条 条例第6条第1項に規定する特別観覧（以下「特別観覧」という。）をしようとする者は、あらかじめ、様式第1号による特別観覧承認申請書を知事に提出しなければならない。

2 知事は、特別観覧を承認したときは、特別観覧承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

（観覧料等の減免）

第5条 条例第8条の規定による観覧料等（同条に規定する観覧料等をいう。以下同じ。）の減免（以

下「観覧料等の減免」という。)は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとし、その減免する額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者（以下「障害者」という。）が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (2) 障害者が常設展示等を観覧するときに現に付き添って介護を行っている者（障害者1人につき1人に限る。）が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (3) 70歳以上の者が常設展示を観覧するとき 観覧料の全額
 - (4) 70歳以上の者が企画展示を観覧するとき 観覧料の2分の1の額（当該額に100円未満の端数があるときは、これを100円に切り上げた額）
 - (5) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として幼児、児童、生徒、学生等が企画展示を観覧するとき 観覧料の全額
 - (6) 幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は大学の教育課程に基づく教育活動（これらに準ずるものを含む。）として常設展示等を観覧する幼児、児童、生徒、学生等を引率する者が常設展示等を観覧するとき 観覧料の全額
 - (7) その他知事が特別の理由があると認めるとき 知事が別に定める額
- 2 観覧料等の減免を受けようとする者は、あらかじめ、様式第2号による観覧料等減免承認申請書を知事に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、前項第1号から第4号までのいずれかに該当するとき、又は前項第7号に該当する場合であって知事がその必要がないと認めるときは、この限りでない。
- 3 知事は、観覧料等の減免を承認したときは、観覧料等減免承認書を当該申請をした者に交付するものとする。

(観覧料等の還付)

第6条 条例第9条ただし書の規定による観覧料等の還付は、次の各号のいずれかに該当する場合に行うものとする。

- (1) 観覧又は特別観覧をしようとする者の責めに帰することができない理由により観覧又は特別観覧ができなくなったとき。
 - (2) その他知事が必要と認めるとき。
- 2 観覧料の還付を受けようとする者は、観覧券を知事に提出しなければならない。
- 3 条例第7条の特別観覧料（以下「特別観覧料」という。）の還付を受けようとする者は、様式第3号による特別観覧料還付申請書を知事に提出しなければならない。ただし、第1項第1号に掲げる場合は、この限りでない。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、センターの長が別に定める。

附 則

この規則は、平成29年12月23日から施行する。

静岡県富士山世界遺産センター 年報2019.4-2020.3

2020年9月発行

編集・発行 静岡県富士山世界遺産センター

〒418-0067 静岡県富士宮市宮町5-12

T E L 0544-21-3776

F A X 0544-23-6800

印 刷 文光堂印刷株式会社



静岡県富士山世界遺産センター